



全国でただ一つの国立の4年制体育大学
国立大学法人 鹿屋体育大学
問合せ先：総務課広報係
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
TEL：0994-46-4818 URL <https://www.nifs-k.ac.jp/>

Twitter、Facebookで情報発信中！



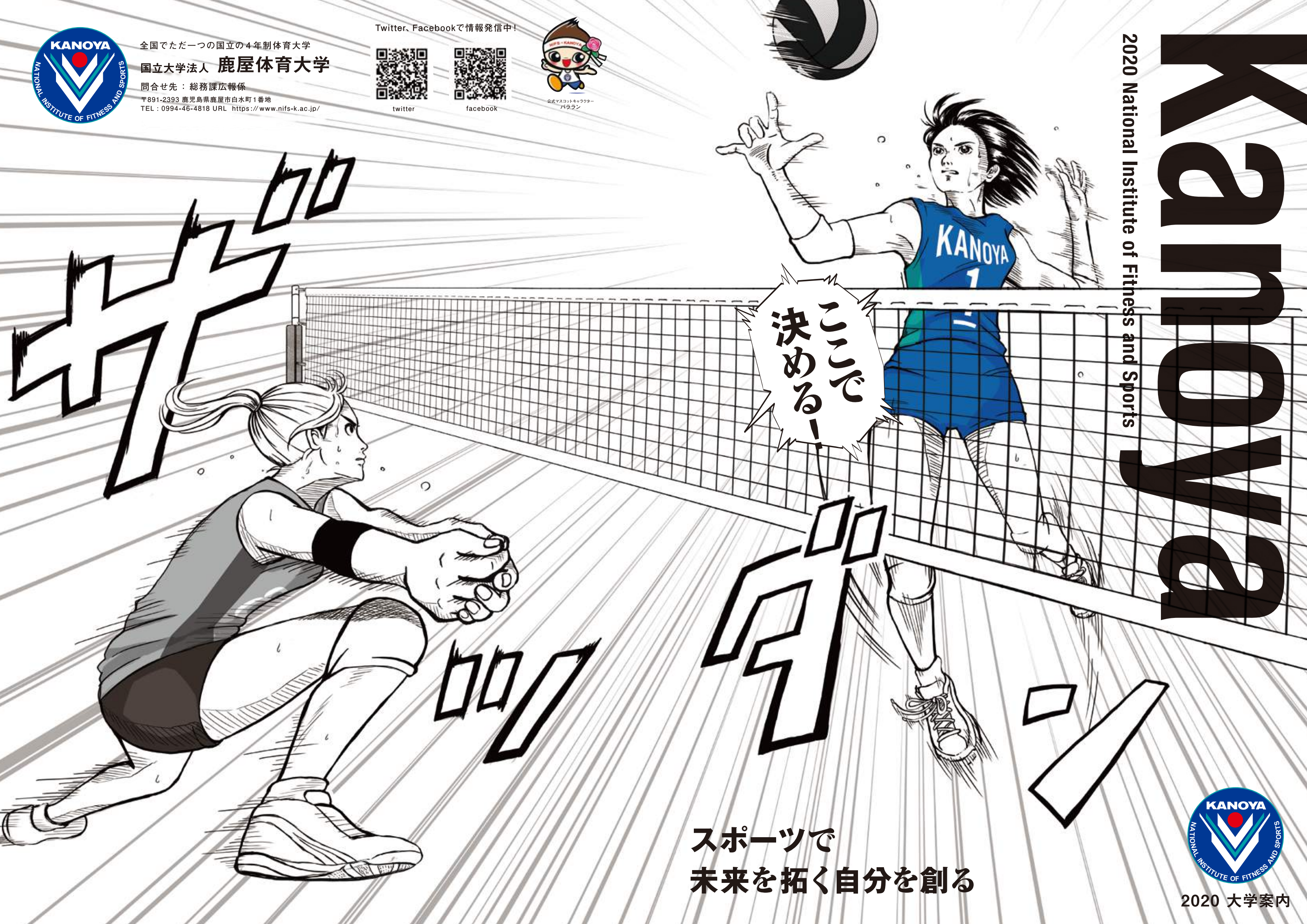
twitter



facebook



公式マスコットキャラクター
パララン



2020 National Institute of Fitness and Sports

Kanoya

スポーツで
未来を拓く自分を創る



2020 大学案内



鹿屋体育大学長

松下 雅雄

鹿屋体育大学では、全国でただ一つの国立の体育系大学という特性を十分に活かし、健全な身体と調和・共生の精神を併せ持つ人材の育成に必要不可欠なスポーツ・身体運動を通じて、創造性とバイタリティーに富む有為の人材を輩出するとともに、体育・スポーツ科学分野における学術・文化の発展と国民の健康増進に貢献し、もって健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与することを目的としております。

この目的を実現すべく、教育、研究、社会貢献及びグローバル化という観点から、社会の信頼に応えられるよう自己改革をしつつ、個性輝く大学を目指しております。

皆さんには、キャンパスの豊かな自然環境と充実した教育研究施設の中で、各自の設定した目標を達成するよう計画的に取り組み、これから社会に必要なリーダーとしての能力を備えていただきたいと思います。

学長からの メッセージ

黒潮満ちる 錦江湾が
夢さわやかに 明けわたる
日進月歩の 理想にもえて
大きく伸びる 若人の
ああ 青春の 意気躍る
鹿屋体育大学に
ああ 青春の 意気躍る

山並みゆかし 高隈山に
いのちの歌が こだまする
真理をみつめて 能力に挑み
情熱よせる 若人の
ああ 感激の 花が咲く
鹿屋体育大学に
ああ 感激の 花が咲く

鹿屋の地から 世界の国へ
いま交流の 輪をひろげ
豊かな抱負を 語らいながら
未来を拓く 若人の
ああ 栄光の 旗が鳴る
鹿屋体育大学に
ああ 栄光の 旗が鳴る

鹿屋体育大学学生歌

作詞 内与詩守 作曲 大川内国雄

□ TOPICS	2
□ 体育学部	8
□ 大学院	18
□ 学生生活・就職	19
□ 施設	32
□ 課外活動	38
□ 入試情報	44
□ 地域貢献・社会連携	46
□ アクセス・周辺環境	48

スポーツで
未来を拓く
自分を創る

1 日本版NCAA 「KANOYAモデル」事業 2018年の取り組み



日本初

国内大学敷地内開催 市民参加型運動会 「かのやエンジョイスports」を開催！

平成30年5月20日、本学スポーツパフォーマンス研究センターにおいて、市民参加型運動会「2018 かのやエンジョイスports」が開催されました。国立大学敷地内での市民参加型運動会開催は日本初となります。会場には、小学生チームや職場の同僚で結成したチームなど、事前に応募のあった16チームとその応援団等、300名を超える方々が集まりました。

競技は16チームを赤、青、黄、白の4つの組に分けて行われ、「綱引き」や「障害物&借り物競争」といった運動会の定番種目のほか、「謎解き」や「足つば競歩競争」、「チャンバラ剣士バトル」、本学学生考案のオリジナル種目「棒引きクイズ」など、バラエティー豊かな10種目の合計得点で組別及びチーム別の優勝が争われました。結果、組別では最終種目の色別リレーで好成績を収めた赤組が僅差で白組を逆転し優勝。チーム別では序盤から着々と得点を重ねた池田病院チームが優勝を果たしました。また、表彰式後にはお楽しみ抽選会も行われ、平成29年に日本一を獲得した鹿屋の黒牛やカンパチをはじめ、全チームにさまざまな景品が贈られました。

当日は強風に見舞われ生憎の天候でしたが、スポーツパフォーマンス研究センター内ではその影響もなく、参加者からは「職場の仲間とのコミュニケーションを深めることができた」「また来年もぜひ参加したい」といった声が聞かれるなど、大いに盛り上がった1日となりました。



毎月開催！ ランチトークイベント！

日本版NCAA KANOYAモデル事業の一環として6月から毎月ランチトークイベントを開催しました。ランチトークイベントとは本学学生食堂の特設ステージにて毎月ゲストに登壇いただき、司会者と対話形式でお話をいただくイベントで、学内への情報提供・共有を目的としています。SA室員へのインタビューや課外活動団体のイベント告知・大会での結果報告、スポーツイベントやスポーツマーケティングに携わる方々を招いて仕事内容やスポーツの問題について語っていただくなどテーマはさまざま。食事中の学生から質問があるなど交流の場にもなっています。



2018 TOPICS

大学スポーツを応援しよう！ Blue Winds presents. 2018 カレッジスポーツデイを開催！



平成30年10月14日、21日、本学でBlue Winds presents. 2018カレッジスポーツデイが開催されました。来場者は2日間で約1200人、来場者にはBlue Windsオリジナルタオルが無料配布されました。

10月14日に行われた第一工業大学との野球の練習試合では、受付時間の前から集まった多くの観客が、配布されたブルーのタオルやバルーンを使いながら大きな声で野球部の応援の音頭に合わせ声援を送りました。野球観戦で特に観客が集まったのが本学野球部部長の前田明教授とMBCアナウンサーの松木圭介さんによる実況・解説を同時進行で聞けるプレミアムゾーン。特設ボードを使ったわかりやすい解説は野球に詳しくない方でも楽しむことができました。

21日は男女バスケットボール九州リーグ戦が行われ、女子は西南学院大学、男子は九州共立大学と対戦しました。男女ともにシュートが思うように決まらず、苦しい展開が続きましたが、シュートやブロックが決まるたびに観客席からは大きな歓声が起こり、会場は大いに盛り上がりました。

さらにこのカレッジスポーツデイには、「ささえる」スポーツの取り組みの一環として両日ともに試合の途中で鹿屋女子高校ダンス部と本学ダンス部によるパフォーマンスが披露され、会場を一層盛り上げてくれました。

Blue Winds ロゴタイプお披露目！ 謎解きスイーツイベント開催！

平成31年1月14日、大学スポーツを通じた地域活性化を目指し本学と鹿屋市の取り組みのロゴタイプが完成し、お披露目式を実施しました。今回作成したロゴタイプは、大隅地区の高等学校書道部にデザインを依頼して作成したもので、鹿屋市区域の小中学生、高校生と本学学生の投票により決定しました。Blue Windsの名前にちなみ、書道では珍しく青い墨を使ったデザインが特徴的なロゴタイプ。お披露目会に出席した作成者の一人は「青の文字をどこに入れるかとても悩みました。これからたくさんこのロゴが使われたらうれしいです」と地域への浸透と活用を期待を寄せました。

また、ロゴタイプお披露目式の後には「Blue Winds presents タイダイの中までイッテ Sweets！」と題した謎解きイベントを開催しました。このイベントは大学内の各課外活動団体が練習している場所にあるミッション（クイズや謎）をクリアするとスイーツをゲットできるというもの。地域住民に本学の敷地を動き回ってもらい、課外活動の練習風景を見学できる場や学生とのふれあいの場を設けることで本学と地域との「こころの距離」を縮めることを目的に開催され、家族や友達同士での参加が多く全98チーム約320名が参加しました。



参加者たちは、学生が考案したミッションに四苦八苦しながらも、親子・友達と知恵を出し合い協力しながら一生懸命に取り組みました。また、どうにかミッションをクリアしようと休憩中の選手にヒントを聞き出す姿や初めて間近で見るスポーツに興味津々で見入っている姿も見受けられました。

ミッションをクリアした参加者たちは、大隅地域の菓子店15店舗の絶品スイーツに舌鼓。1番乗りでスイーツをゲットした参加者は「体育大学の中はすごく広かったけど、スイーツをゲットするために走りました。クイズの全問正解の目標を達成してうれしいです」と笑顔で語るなど大いに盛り上がった一日となりました。





アジア競技大会でメダルを獲得！

平成30年8月18日～9月2日、インドネシア・ジャカルタで開催された第18回アジア競技大会において、体操競技部 前野風哉さん（スポーツ総合課程4年）が男子団体で銀メダル、自転車競技部 橋本優弥さん（同4年）が女子4000m団体追抜で銅メダルに輝きました。前野さんは大会を振り返り、「団体2連覇を目標としていたので、銀メダルで悔しい気持ちもあるが、日本代

表として4種目に出場できたこと、中国のトップ選手たちと戦えたことはいい経験になった。2年後のオリンピックを目標に頑張りたい」と喜びと今後の意気込みを語りました。また、橋本さんは本学OBで兄の英弥さんがトラック男子オムニウムで金メダル、トラック男子チームバシュート、マディソンの2種目で銅メダルに輝き、兄妹でうれしい結果となりました。



2



3 ウインドサーフィン部 穴見さん PWAワールドツアー2018 年間チャンピオンに！

ウインドサーフィンの世界大会The Professional Windsurfers Association World Tour 2018において、今年から正式種目となった「foil」のU21クラスで、本学ウインドサーフィン部所属で、JWA（日本ウインドサーフィン協会）プロ登録している穴見知典さん（スポーツ総合課程4年）が、見事初代チャンピオンに輝きました。日本人選手がPWAの主催する世界大会で年間王者になるのも初めての快挙です。

穴見さんは今回の結果を振り返り「世界大会に挑戦し、自分を鍛える事を目標に取り組んできました。思いがけない受賞となりうれしく思っています。お世話になっている方への良い報告ができました。さらなる上位を目指します」と益々の活躍を誓いました。

剣道部(女子) インカレ優勝！

平成30年11月、剣道部(女子)が第37回全日本女子学生剣道優勝大会で3年ぶり10回目の優勝を果たしました。大将を務めた松本智香さん(武道課程4年)は大会を振り返り、「優勝までの道のりは楽しいことだけでなく、苦しいこともありましたが、最後まであきらめずに戦い続けることができました。また、たくさんの方々の思いや応援があったからこそ優勝でもあります。ありがとうございました」と優勝の喜びと感謝の言葉を述べました。



インカレ・全日本で大活躍！



なぎなたインカレ 個人優勝！団体準優勝！

平成30年8月、第57回全日本学生なぎなた選手権大会において、なぎなた部 春山りんかさん(武道課程1年)が試合競技個人の部で優勝しました。初出場での優勝に春山さんは「結果より内容を楽しもうと試合に臨んだ。まさか今年優勝できるとは思っていなかったので、とてもうれしい」と喜びを語りました。試合競技団体の部の決勝戦は、四連覇の重圧に勝てず惜しくも準優勝となりましたが、大健闘の結果を収めました。

全日本選手権 銀メダル！14年ぶりの快挙！

平成30年10月、第96回全日本選手権大会において、漕艇部の四方美咲さん(スポーツ総合課程2年)と谷口智佳子さん(同1年)が、女子ダブルスカルに出場し、準優勝に輝きました。本学漕艇部女子ダブルスカルでの同大会における入賞は、1993年の優勝、2004年の6位以来14年ぶりの快挙です。



4

2018 TOPICS



平成30年11月、本学の卒業生であり、現在、日本で唯一のブル専門水中フォトグラファーである西川隼矢氏(株式会社Rockin'Pool 代表取締役)を招き、「鹿屋で世界を体験しよう！水中スクーター体験！」が開催されました。水中に設置されたフラフープを潜り抜けるタイムアタックでは、複雑に配置された上級者コースにも果敢に挑戦する参加者も見受けられ、多くの子どもたちからは「また参加したい！」という感想が聞かれました。

東京2020 オリ・パラに向けた 様々な事業を開催！

平成30年11月、元プロ野球選手の小宮山悟氏、黒木知宏氏を招き野球教室及び講演会を行いました。野球教室には鹿児島県内から中学生50名が参加。守備の基本動作やバッティング、ピッチャーへのピッチングの練習など、お二人から実践的な技術指導が行われ、普段とは違うグラブさばきや足の運びに最初は戸惑っていたようでしたが、熱く丁寧な指導により徐々に思い通りの動きになっていました。最後には参加者全員と握手をするなど参加した子どもたちは大満足の様子でした。



6

15年連続開催！ 「スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学」

平成31年3月25日～27日の3日間、高校生のための先進的科学技术体験合宿プログラム「2019スポーツサイエンスキャンプin鹿屋体育大学：スポーツ科学の最前線～From Gene to Gold～」を開催しました。

このプログラムの目的は、スポーツ科学の研究成果が、「運動パフォーマンスの向上に対して大きな役割を果たしていること」、および「国民すべての健康の維持・増進に対して幅広く応用されていること」、この2点を理解してもらうことです。

プログラムでは、スポーツ生理学、心理学、バイオメカニクスに関する講義を受講するとともに、最先端の研究装置・設備を



用いて実験を行い、参加者は、スポーツや運動が人間の体に及ぼす影響や重要性について理解を深めていました。

参加者からは、「貴重な体験ができ、スポーツ科学の研究についてもっと知りたいと思うようになった」「学んだことをこれから競技に生かしていきたい。また、同じ部活動の仲間にも伝えたい」「同じ目標を持つ仲間に出会えて、とても楽しかった」などの感想が聞かれるなど、本プログラムを堪能しました。

学生の研究成果が続々受賞！

第31回日本トレーニング科学会で奨励賞

平成30年10月、第31回日本トレーニング科学会大会において修士課程(体育学研究科体育学専攻)2年の大和谷健太さんが発表した「高強度持続的および間欠的運動トレーニングが1分程度で終了する運動パフォーマンスに与える効果」が奨励賞を受賞しました。この研究は大和谷さんのほか、柏木涼吾さん、岩下幸平さん、小原侑己さんの学生4名(4名とも同2年)が授業の一環として取り組んだ実験で、大和谷さんら学生は、「仲間と受賞できたことはとても嬉しいですね。受賞は狙ってとれるものではないので、真面目に努力した結果の幸運だと考えます。これからもコツコツと精進します」と喜びを語りました。



日本体育測定評価学会で優秀発表賞

平成31年3月、日本体育測定評価学会第18回大会において、博士後期課程(体育学研究科体育学専攻)1年(発表時)の沼田薫樹さんが「優秀発表賞」を受賞しました。

受賞した沼田さんの発表演題は、「項目反応理論を用いたバレーボールにおけるゲーム評価項目の困難度」で、バレーボールにおける試合中のパフォーマンスをデータ化し、セット取得に結びつく攻撃の指標に関する評価基準を導き出したものです。この研究にあたり、15試合51セット分(102データ)のサンプルを収集・分析した沼田さん。「根気のいる作業でしたが、導き出す測定・評価方法を考案・作成しながらの時間は充実したものでした。今後もデータや数値を読みやすいものへ「見える化」・「デザイン化」していきたいです」と研究に費やした時間を振り返り、抱負を述べました。



5

7

スポーツで未来を拓く自分を創る





アドミッション・ポリシー

- 【体育学を学ぶための基礎的な力を身に付けている学生】
文系・理系に偏ることのない基礎学力とともに、自分の得意分野の実技能力をも身に付けている学生。
- 【自己表現ができる学生】
自分が身に付けた学力や実技で得た経験値を総合的に活用・応用し、スポーツ・武道および体育・健康づくりに関する新たな課題やその解決策を考察し、他者に伝えることができる学生。
- 【新たな課題に挑む意欲のある学生】
礼節とスポーツマンシップを身に付けた、新たな課題に進んで挑戦しようとする、感性豊かで協調性のある学生。

カリキュラム・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で、市民性、国際性を備えたリーダーを養成するために、課程や学生の志向性に沿って、学年進行で1.専門性の深化と充実、2.社会人としての豊かな教養の涵養^{かんよう}、3.将来を展望し、勤労観・職業観を醸成できるための教育課程を編成しています。

ディプロマ・ポリシー

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダーを養成するための知識・能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に学位を認定します。

「課程」と「系」

本学は、教育目標の達成に向け、体育学部にはスポーツ総合課程及び武道課程を設定し、各課程の中に3つの系(柔軟なコース)を編成し、それぞれの専門に向けた勉学ができるようにしています。

スポーツ総合課程

(定員：120名)

武道課程

(定員：50名)

スポーツ総合課程の目標

スポーツ総合課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、競技スポーツ、生涯スポーツ、健康づくりに関する専門的能力を、理論と実践の往還を通じて修得することにより、バイタリティーを持ち、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

アスリート・コーチング系

トップレベルの競技力の向上、ジュニア期からトップレベルまでのコーチングを行うことのできる人材を養成するコース。

生涯スポーツ系

健康づくりのコーディネートやスポーツクラブ等の管理運営、プログラム開発を行うことのできる人材を養成するコース。



武道課程の目標

武道課程は、体育・健康づくりに関する科学的な基礎知識や応用能力を有し、我が国発祥の身体運動文化として伝承され、今日において競技文化としても広く認識されている武道、特に柔道・剣道における心と技を伝統的修練形式である稽古を通じて修得することにより、武道の精神と、国際社会の進展に対応できる実践的かつ創造的で、市民性を備えたリーダーの育成を目標とします。

専攻系の紹介

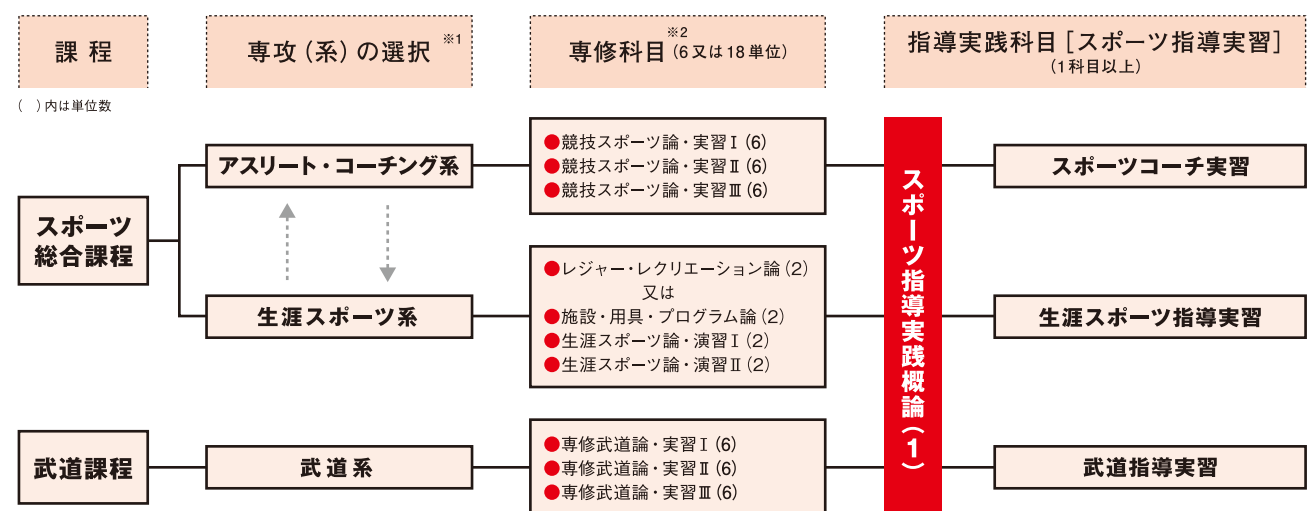
武道系

武道における「こころ」と「わざ」を伝統的修練形式により学び、武道の実技指導を行うことのできる人材を養成するコース。



専攻科目の系の選択

- ①スポーツ総合課程に所属する学生は、「アスリート・コーチング系」「生涯スポーツ系」より1系以上を選択し、履修します。
- ②武道課程に所属する学生は、「武道系」を履修します。



※1) 決められた条件の中で、1つの系以上を選択できるものとします。スポーツ総合課程では2つの系より選択できます。
 ※2) 各系の必修科目を示しています。
 (注) 選択した系以外で履修可能な他系を ----> で示しています。

教育課程の編成

授業科目は原則として学期完結型の科目（学期毎に単位が取れる科目）として設定しています。
ただし、一部の科目について、通年科目（1年間履修して単位がとれる科目）となっています。

一般科目		4年間の流れ			
一般科目		1年	2年	3年	4年
コミュニケーション科目					
社会・文化・自然科目					
総合科目					
キャリア形成科目					
キャリアデザイン科目					
専門科目					
基礎科目A（人文・社会・自然系）					
基礎科目B（指導・普及系）					
応用科目					
実験演習科目					
関連実技科目					
ゼミナール（卒業研究）					
専攻科目					
専修科目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）					
指導実践科目 （アスリート・コーチング系／生涯スポーツ系／武道系）					
教職科目					
教職					
専門					

スポーツ・武道及び体育・健康づくりにおける
実践的かつ創造的で市民性、国際性を備えたリーダー

また、授業科目は下表のように、履修（選択）の仕方により「必修科目」、「選択科目」、「自由科目」に分類されます。

区分	科目区分の特徴（ねらい）
必修科目	単一の授業科目で、その修得が義務づけられている科目
選択科目	複数の授業科目のうちから指定する科目数又は単位数の修得が義務づけられている科目
自由科目	必修科目及び選択科目を除き、その修得を卒業認定の要件とされている科目

授業時間

1. 学期と授業時間割

学年を前期（4月1日～9月30日）と後期（10月1日～3月31日）に区分し、原則として学期ごとに授業科目の設定を行います。なお、授業は、原則として各学期とも15週（試験を課す場合は16週）にわたって行います。

	第1時限 （90分）	第2時限 （90分）	第3時限 （90分）	第4時限 （90分）	第5時限 （45分）
開始	8：30	10：10	12：40	14：20	16：00
終了	10：00	11：40	14：10	15：50	16：45

前期：4月1日～9月30日
後期：10月1日～3月31日

授業は、左表のとおり行います。
集中講義や学外授業などを行うことがあります。

2. 休業日

休業日（授業を行わない日）は次のとおりですが、休業日においても特別な場合には授業を行うことがあります。

- ① 週休日（土曜日・日曜日）及び国民の休日に関する法律に定める休日
- ② 開学記念日（10月1日）
- ③ 夏期休業日（8月8日～9月30日）冬期休業日（12月26日～1月7日）春期休業日（3月11日～3月31日）
- ④ その他大学が定めた日

注：休業日においても、特別な場合には講義を行うことがあります（集中講義等）。

3. 授業の方法

講義、演習、実験、実習もしくは実技又はこれらの組み合わせにより実施します。
※情報活用能力の育成等のため、タブレットコンピュータを必携としております。

ゼミナール

ゼミナールは、少人数の学生が指導教員の下で、お互いに質疑討論を交わし、学習成果を発表しながら専門研究領域における知識を深め、研究方法を履修していく授業形態です。3.4年次の必修科目で、各指導教員により実施されます。ここでは、数あるゼミの中から3つを紹介します。

スポーツ・武道実践科学系 | 萬久博敏ゼミ・角川隆明ゼミ(水泳研究室)

水泳について探求し、競技力を伸ばそう！

私たちのゼミは、水泳競技を対象に、バイオメカニクスや運動生理学の観点からトレーニングや泳技術、パフォーマンス向上に関する研究を行っています。また、各種センサや画像を用いて水中動作を分析し、推進力や抵抗力といった身体に働く力を評価、水泳の推進メカニズムを解明するような研究にも取り組んでいます。普段の競技活動を通じて感じる疑問に向き合い、解決しながら、競技と学業の双方にとってプラスになるような活動を行っています。



田中 陽さん（愛媛県立松山西中等教育学校）
私は専門科目である水泳の競技力向上につながる研究をしたいと思い、このゼミを選びました。ゼミではある技術を習得する手段として、自身の泳ぎをイラストで描くことで運動意識（コツ・カン）がどのように変化するかについて取り組んでいます。実際にモーションキャプチャーシステムを使用することで客観的にも動作分析を行い、普段、泳いでいる時に感じる水泳の謎についてゼミの先生や先輩と議論を交わしています。水泳に関する書籍もたくさんあるので水泳をもっと知りたいという人には充実した環境だと思います。



スポーツ生命科学系 | 高井洋平ゼミ

日々のパフォーマンスを目に見える形で



私たちのゼミは、2つの領域に分かれて研究を行っています。1つは球技スポーツを研究題材に、選手の走速度や位置に着目した実践研究に取り組み、もう1つは競技に関係なく筋力や筋活動量などの生理応答を測定し、身体パフォーマンス向上のための研究に取り組んでいます。どちらの分野でも、さまざまな測定機器の使い方を学び、それによって得られたデータの分析方法を学んでいます。データを可視化するために、適切なグラフを作成し、論理的に思考する能力を身につけるためです。異なるスポーツを行っている学生が集まり、いろいろな視点から意見を出し合い、和気あいあいと楽しみながら、自分たちの研究を他者に理解してもらうためのプレゼンテーションやレポートの作成技術を学んでいます。

竹下 将樹さん（宮崎日本大学学園高等学校）

私がこのゼミを選んだ理由は、効率よく筋肉を増やす方法を学んで、競技に生かしたいと思ったからです。また、先生の講義を聞いた際に、大変面白く、興味を持ち、この先生のもとで学びたいと強く思いました。ゼミでは、どのようなトレーニングが筋肥大を起こしやすいかということに着目して、実験を行い、そのデータ分析をしています。また、自分が行っている柔道競技の団体戦は、体格差がある中で試合を行うので、効率よく筋肉を鍛えて自分より大きな相手と戦うために、研究で得た成果をトレーニングに生かしています。



スポーツ人文・応用社会科学系 | 萩原悟一ゼミ

スポーツ研究の何でも屋を目指す！

私たちのゼミは「多くの人々にスポーツに参画(する・みる・支える)してもらうためには、どうすればよいのか」を主なテーマに、行動科学や社会心理学の理論的背景を援用しながら、その行動プロセスを読み解くことを研究しています。研究対象は大学スポーツからeスポーツまで幅広く、また、研究手法もアンケート調査のような手法から視線計測、脳波測定などバラエティーに富んでいます。目覚ましい進化を遂げるスポーツ分野での研究に対応できるように「スポーツ研究の何でも屋」を目指して日々、楽しく活動しています。ゼミ活動は基本的に3年生、4年生、大学院生が一緒になって行い、ゼミを通じた仲間づくりも行っています。



石塚 智菜実さん（大阪市立咲くやこの花高等学校）

スポーツマネジメントに興味があったためこの萩原ゼミを選びました。今はスポーツマネジメントの中でも主に大学スポーツに関心があります。日本版NCAA事業のモデル校の一角に選ばれた本学で、大学スポーツが地域に与える影響、また大学スポーツがより活性化するにはどのようなブランディングが必要なのかを研究しています。地域との繋がりを理解し、大学スポーツの現状を踏まえた上で今何が必要なのかを考える、そんな力を研究を通して身につけ、社会に出てからも分析力や観察力を生かしていきたいと思っています。



開設科目

一般科目									
区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	区分	授業科目名	履修年次	
コミュニケーション科目	英語Ⅰ	1	社会・文化・自然科目	日本事情※	1	総合科目	環境論	1	
	英語Ⅱ	2		現代日本事情※	2		総合演習A	3	
	上級英語	3		各国文化研究	1～4		総合演習B	2	
	英語コミュニケーションⅠ	1		倫理・哲学	1		総合演習C	3	
	英語コミュニケーションⅡ	2		人権論	1		総合演習D	2	
	上級英語コミュニケーション	3		ジェンダー論	1		総合演習E	2	
	中国語	3		歴史学	2		情報処理A	1	
	韓国語	3		社会学	2		情報処理B	2	
	国語・文章表現法	1		日本国憲法	1		情報処理C	2	
	ドイツ語	3		日本文化論	1		プレゼンテーション・討論Ⅰ	2	
	フランス語	3		異文化理解	3		プレゼンテーション・討論Ⅱ	3	
	留学生のための英語※	1		国際関係論	4		交流リベラルアーツ	1～4	
	日本語演習Ⅰ※	1		生物化学論	1				
	日本語演習Ⅱ※	2		身体科学論	1				

キャリア形成科目								
科目 キャリア デザイン	キャリアデザインⅠ	1	科目 キャリア デザイン	キャリアコミュニケーション	3	科目 キャリア デザイン	キャリア対策セミナー（一般企業）	3
	キャリアデザインⅡ	1		企業実習（1週）	3		キャリア対策セミナー（公務員）	3
	キャリアデザインⅢ	2		企業実習（2週）	3		ボランティア活動	1～4
	キャリアセミナー	3		キャリア対策セミナー（教員）	3			

専門科目									
基礎科目	A	解剖生理学	1	応用科目	スポーツ産業論	2	関連実技科目	ラグビー	2
		体育・スポーツ哲学と倫理	1		スポーツ老年学	2		ダンス	3, 4
		体育・スポーツ史	1		スポーツ文化論	2		バレーボール	3
		健康教育学	1		スポーツトレーニング実践論	3		柔道	1
		運動生理学	1		体育・スポーツ行政学	3		剣道	1
		スポーツ栄養学	1		武道文化論	3		エアロビックダンス	1
		スポーツ社会学	2		身体発育発達論	3		ジョギング&ウォーキング	2
		スポーツ経営・管理学概論	2		スポーツ戦術実践論	3		生涯スポーツ・レクリエーション&ゲームズ	1
		生涯スポーツ学概論	1		社会調査論	3		テニス	2
		スポーツ心理学	2		スポーツ運営論	3		夏季山岳レジャースポーツ実習	2
		バイオメカニクス	2		体育・スポーツ統計学	3		冬季山岳レジャースポーツ実習	2
		衛生学・公衆衛生学	2		スポーツマーケティング論	3		海洋スポーツ	2
応用科目	B	スポーツ医学	3	運動処方論	3	卓球	3		
		救急処置論・実習	2	応用スポーツ心理学	3	バドミントン	3		
		トレーニング科学概論	2	イベント管理学概論	3	ソフトボール	2		
		スポーツカウンセリング論	2	ヘルスプロモーション論・実習	4	ゴルフ	4		
		運動学概論	2	救急法実習	1～4	なぎなた	2		
		学校保健	2	実験演習科目	体育学実験Ⅰ（運動生理学、バイオメカニクス、スポーツ心理学、衛生学・公衆衛生学、スポーツ栄養学）		相撲	2	
		スポーツと法	3				弓道	2, 4	
		コーチ学概論	2				野外活動	2	
		障がい者スポーツ論	3				体力トレーニング	2	
		武道学概論	1				ゼミナールⅠ	2	
		マッサージ・テーピング論・実習	3				ゼミナールⅡ	3	
		生涯スポーツ実践論	3				ゼミナールⅢ	4	
武道史	2	卒業研究	4						
運動生化学	2	実技関連科目	陸上・体操・水泳				3		
アスレチックリハビリテーション論	2		バスケットボール	1					
アスレチックリハビリテーション実習	3		サッカー	1					

専攻科目																		
区分	授業科目名			履修年次	区分	授業科目名			履修年次	区分	授業科目名		履修年次					
専修科目	アスリート・コーチング系	競技 スポーツ論・実習 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	陸上競技	1～4	専修科目	生涯スポーツ系	海洋スポーツ	1～4	専修科目	生涯スポーツ系 武道系	指導実習科目	コミュニティスポーツ	3	スポーツ指導実践概論	1			
			水泳	1～4			自転車競技	1～4				生進 スポーツ論・実習Ⅱ	健康・体力	3	スポーツ指導実習	スポーツコーチ実習	3	
			体操競技	1～4			レジャー・レクリエーション論	2				野外教育	3	生進スポーツ指導実習		3		
			バレーボール	1～4			施設・用具・プログラム論	2				武修 武道論・実習 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	柔道	1～4		武道指導実習	3	
			バスケットボール	1～4			コミュニティスポーツ	3					剣道	1～4		SCO-OP実習	3～4	
			サッカー	1～4			生進 健康・体力	3										
			テニス	1～4			野外教育	3										

教職科目											
区分	授業科目名		履修年次	区分	授業科目名		履修年次	区分	授業科目名		履修年次
教職科目	教職	教師論	1	教職科目	教職	特別活動論	2	教職科目	専門	保健体育科教育法Ⅲ	3
		教育心理学	2			教育方法・技術	2			保健体育科教育法Ⅳ	3
		特別支援教育	2			学校と教育の歴史	3			教育実習Ⅰ	4
		道徳の理論と指導法	2			教育法・教育行政	3			教育実習Ⅱ	4
		総合的な学習の時間の指導法	2			生徒・進路指導論	3			教職実践演習（中・高）	4

取得可能な資格

[1] 本学で取得できる教育職員免許状 ●中学校教諭一種免許状 ●高等学校教員一種免許状 ※本学の授業科目の履修によって取得することができます。

[2] 本学で取得できる資格・受験資格等

【スポーツ指導基礎資格】●スポーツリーダー 【競技別指導者資格】●指導員●コーチ●教師【フィットネス資格】●ジュニアスポーツ指導員●スポーツプログラマー【マネジメント資格】●アシスタントマネージャー【各種加盟団体等の資格】●日本サッカー協会公認C級コーチ●全日本剣道連盟公認社会体育指導員（初級）【健康運動実践指導者】●健康運動実践指導者【健康運動指導士】●健康運動指導士【その他の資格等】●イベント検定●レクリエーション・インストラクター●レクリエーション・コーディネーター※資格取得のためには、本来は各種加盟団体が実施する講習会を受講し、検定試験に合格しなければなりません。本学は課程認定を受けていることから、指導者資格ごとに指定された本学の授業科目を履修すれば、講習会の一部が免除されます。

穴見知典

— 体育学部 —
スポーツ総合課程 4年



Akei Tomonori

挑戦できる場所

「ウィンドサーフィンで世界を目指したい」「他を圧倒できる知識を得たい」そんな思いで鹿屋体育大学に入学しました。私は大学1年でプロウィンドサーファーの資格を得て、ワールドツアーを転戦するようになりました。そして昨年ワールドツアーにおいて「2018年年間世界チャンピオン」になることができました。鹿屋体育大学には様々な施設、機器がそろっており、使い次第で無限の可能性を秘めています。ここではあなただけの挑戦ができ、大学がそれを支えてくれます。皆さんも鹿屋体育大学で夢へ挑んでみてはどうでしょう！

春山りんか

— 体育学部 —
武道課程 2年



Haruyama Rinka

夢への道しるべ

私は鹿屋体育大学の、勉強や部活に取り組む環境が整っている部分に魅力を感じ、入学を決めました。本学は競技レベルの高い体育学生が多いことから、刺激を受けることができ、部活動でも尊敬する先輩方と毎日稽古に励むことでスキルアップに繋がっています。そのため、目標であった昨年の全日本学生なぎなた選手権でも個人の部で優勝することができました。また、勉強に関しても栄養や身体に関することなどを学び、科学的知識も身につけることができます。鹿屋体育大学は、「夢への道しるべ」になる大学です。



私の時間割<4年前期>

	月	火	水	木	金
1限	運動生化学	スポーツ社会学	スポーツ経営・管理学概論		バイオメカニクス
2限	海洋スポーツ② (9-16週)	英語コミュニケーションII		衛生学・公衆衛生学	
3限			レジャー・レクリエーション論	ラグビー①	競技スポーツ論・実習II—海洋
4限	救急処置論・実習		スポーツカウンセリング論		
5限					

■平成27年度入学(AO入試) ■大分県立国東高等学校 ※学年はメッセージ作成時



私の時間割<1年後期>

	月	火	水	木	金
1限	スポーツ栄養学	スポーツ指導実践概論(1-8週)キャリアデザインII(9-16週)	人権論(1-8週)ジェンダー論(9-16週)	教師論	運動生理学
2限		スポーツ心理学		日本国憲法	武道学概論
3限	英語コミュニケーションI	サッカー②	体育学実験I	環境論	専修武道論・実習I—剣道
4限		国語・文章表現法	スポーツカウンセリング論	エアロビクスダンス②	
5限					

■平成30年度入学(AO入試) ■熊本県立熊本西高等学校

在学生からのメッセージ

MESSAGES FROM STUDENTS

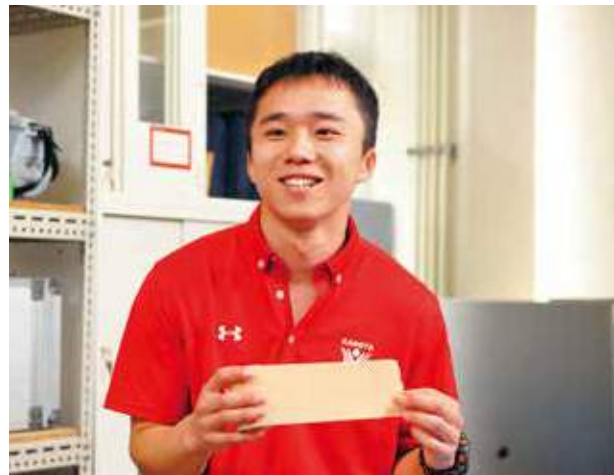
— 体育学部 — スポーツ総合課程 4年

藤田 誠也



充実した学習環境！

私は、専門学校で学んだ知識と技術をより深めるために、鹿屋体育大学に編入しました。現在は、大学の陸上競技部中長距離ブロックのトレーナーとして選手のサポートをしています。また、大学の優れた研究施設を利用して、選手のパフォーマンスの測定や評価もしています。アスリートのサポートができ、ここにしかない研究施設を利用できるこの場所ほど、トレーナーにとって刺激的な場所はありません。競技に集中し、スポーツを愛する人々と共に成長できる鹿屋体育大学は、さらなる高みを目指せる場所です。熱い思いを持った皆さんに出会えることを楽しみにしています！



私の時間割＜3年後期＞

	月	火	水	木	金
1限	教育法・教育行政	スポーツ指導実践概論(1・8週)	保健体育科教育法Ⅱ	教師論	運動生理学
2限	教育心理学	英語コミュニケーションⅡ	学校保健	日本国憲法	教育相談・カウンセリング論
3限	体力トレーニング		運動学概論(1・8週)		競技スポーツ論・実習Ⅱー陸上
4限				特別活動論(1・8週)	
5限			体育学実験Ⅰ		

■平成30年度入学(第3年次編入) ■兵庫県立夢野台高等学校

— 体育学部 — スポーツ総合課程 2年

根本 凌



夢の実現のために

私が鹿屋体育大学に入学した理由は、環境・施設共に充実しており、将来の目標を追いかける場所として最適と思ったからです。この思いを形にするため努力を重ね、所属するサッカー部において、1年目から試合で活躍し、選抜に選ばれるような選手になりました。また、各課外活動とも、全国から高いレベルの目標を持ったアスリート達が集まることから、さまざまな刺激を得ることができるため、自分自身の競技力向上に繋がっていると感じています。鹿屋体育大学での生活は、自分自身の夢を実現させる後押しをしてくれます。皆さんも鹿屋体育大学で、夢や目標に向かって共に頑張りましょう！



私の時間割＜2年前期＞

	月	火	水	木	金
1限	スポーツ栄養学	スポーツ指導実践概論(1・8週)キャリアデザインⅡ(9・16週)	人権論(1・8週)ジェンダー論(9・16週)	教師論	運動生理学
2限	英語コミュニケーションⅠ	スポーツ心理学	保健体育科教育法Ⅰ	日本国憲法	
3限		サッカー②		環境論	競技スポーツ論・実習Ⅰサッカー
4限		国語・文章表現法	体育学実験Ⅰ	エアロビックダンス②	
5限					

■平成30年度入学(推薦入試) ■私立上田西高等学校

Nemoto Ryo

GRADUATE SCHOOL OF PHYSICAL EDUCATION

大学院体育学研究科（体育学専攻）の目的

鹿屋体育大学大学院体育学研究科（体育学専攻）は、スポーツ・健康に関する学術の理論及び応用と実践が一体となった教育研究を展開し、その深奥をきわめ、又は高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識及び卓越した学力を培い、スポーツ文化の進展及び国民の健康増進に寄与することを目的としています。

多様な教育プログラム

さまざまなニーズに対応した多様な教育プログラムのもと、多様な人材の入学をお待ちしております。

東京サテライトキャンパス 社会人コース （修士課程、博士後期課程）

各競技においてトップレベルのコーチやアスリートとして活躍している人や体育系の教員らが、その技術に関する実践的指導能力と高度な科学的研究能力を東京に在住しながら修得できるようにすることを目的として、社会人コースを夜間に開設しています。



国立スポーツ科学センター（JISS） との連携大学院（博士後期課程）



国立スポーツ科学センターを主な勉学の場として、同センターの特色を生かした授業科目の履修及び研究指導を受け、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すものです。

鹿屋体育大学



体育学・スポーツ科学 連携大学院教育プログラム（博士後期課程）

本学大学院体育学研究科（博士後期課程）を中心として、体育系の修士課程を有する熊本大学と鹿児島大学、宮崎大学の大学院教育学研究科とが連携・協力して、鹿屋体育大学大学院の博士（体育学）の学位取得を目指すプログラムです。



筑波大学との共同専攻

スポーツ国際開発学共同専攻 （修士課程）

スポーツというツールを用いて、国内外で生じている課題の解決に貢献できる人材の育成を目指す修士課程です。本学と筑波大学・日本スポーツ振興センターの3機関が共同して、スポーツを通じた国際開発と平和に関する実践的能力を養う教育プログラムを提供します。

JAPAN SPORT COUNCIL



国立大学法人 鹿屋体育大学
NIFS National Institute of Fitness and Sports



筑波大学
University of Tsukuba

大学体育スポーツの充実のために、教育指導と研究の循環を高度に展開できる能力育成を軸とした教育指向型の博士課程です。本学と筑波大学とが共同設置しており、一部の科目を除き、遠隔講義システムを利用して、それぞれの大学で開講する授業を受講することができます。

大学体育スポーツ高度化共同専攻 （3年制博士課程）

大学院生からのメッセージ

スポーツ界の発展に貢献するために

私は他大学でスポーツとは無関係の分野を学び、社会人も1年間経験しました。しかし、スポーツに関する研究を行いたいと思うようになり、恵まれた環境にある本学の大学院に入学しました。

スポーツマネジメントを専門分野とし、日本のスポーツ界の発展に貢献できるよう日々研究を進めています。

普段は研究だけではなく、部活動や大学で行われる地域貢献を目的としたスポーツイベントの運営にも携わっています。

八尋 風太

Yahiro Futa

- 大学院体育学研究科
体育学専攻（修士課程）
- 私立西南学院高等学校出身



就学生生活

CAMPUS LIFE & CAREER SUPPORT

学生宿舎紹介

学生宿舎は、大学敷地の一角に位置し、1棟70名収容の建物を5棟設けています。部屋はすべて個室（約6畳）で、収容人員は350名（男子280名、女子70名）、現在、在学生全体の約4割の学生が入居しています。棟内は、居室のほか、各階に共用施設として補食談話室、洗面、洗濯室、浴室、トイレ等があります。

寄宿料等は、1ヶ月当たり13,800円（寄宿料4,300円、運営費6,500円、居室電気料3,000円）です。規則正しい生活を送ることができるように、学部1年生から3年生については学生食堂での朝食摂取を入居の条件としています。

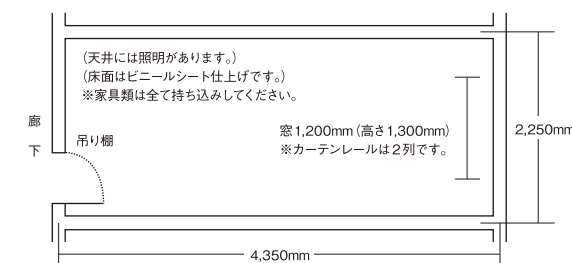
朝食代：年額76,320円（令和元年度実績）、年度当初に前納（理由がある場合は、事前の欠食届提出により返金）

寝具類（掛・敷布団、毛布、枕、シーツ及びカバー）は、衛生管理面を配慮して入居者全員分を大学指定の業者からリースしています。消耗品（トイレトーパー、指定ゴミ袋、ゴミ袋、食器用スポンジ・洗剤、居室用蛍光灯）は入居者から徴収している運営費で購入しており、管理人室で払い出します。



居室

居室は、すべて個室（洋室）になっています。広さは約10㎡（長方形で約6畳）です。



学生宿舎 Q&A

Q. 入居選抜方法について

A. 新入生においては、(1) 学生宿舎生活の支障の有無、(2) 自宅から大学までの距離及び交通手段、(3) 家庭状況及び経済状況、について勘案して選考を行います。加えて2年生からは、各種宿舎行事への出席状況や、日頃の生活態度なども審査対象になります。学生宿舎の入居許可期間は1年間（4月～翌年3月）ですので、入居後も毎年度選考を行います。

Q. 自動車の乗り入れについて

A. 学生宿舎には約150台分の入居者用駐車場があります。駐車場の利用は許可制ですので、学生宿舎管理人室で駐車場の空き状況を確認し、申請書類を提出することで利用できます。なお、学生宿舎から大学へ自動車で通学することはできません（大学と隣接しているため、徒歩で通学可能です）。

Q. 周辺アパートについて

A. 大学周辺には学生向けアパート等が点在しており、家賃は、地域、部屋の設備等により異なりますが、6～8畳のキッチン、バス、トイレ付きで、25,000円～40,000円程度です。大学から5kmほど離れた西原地区は、家賃相場が多少上がりますが、スーパー、コンビニ等が大学周辺より多く生活至便です。

学生宿舎利用者



Matsuura Mirei

原付バイクで約2分

松村 美怜

寮はお風呂・台所・洗濯機が共用で譲り合いながら生活しています。寮だと周りに友達も沢山いるので、一緒に食事をしたり、DVDを観たり、課題をしたりすることもあり、毎日とても充実しています。そして大学の周りには美味しいお店が多いので、練習で疲れたときや休日にお店を巡ると、学業も課外活動も頑張ろうという気持ちにさせてくれます。

■1日の流れ（課外活動のある日）



■1カ月の生活費

食費	24,000円
日用品	5,000円
交通費（ガソリン代など）	2,000円
交際費	5,000円
雑費	4,000円
貯金	11,000円
計	55,000円



アパート・マンション利用者



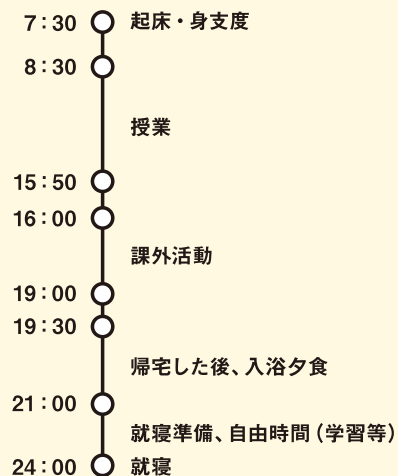
Hiragaki Takuma

大学まで車で約8分

平垣 拓馬

アパート生活は1人暮らしに慣れるまでは大変です。しかし、自分だけの空間で自由な時間を過ごすことができるのでおすすめです。お金のやりくりやその日のご飯など考えることはたくさんあって大変ですが、社会に出てからの自立にもつながると思います。学生生活は授業と課外活動を中心に充実した毎日を送っています。また、大学内だけに留まらず、地域ともたくさん関わりのある刺激的な毎日です。

■1日の流れ（課外活動のある日）



■1カ月の生活費

家賃	30,000円
食費	25,000円
光熱費	10,000円
交通費（ガソリン代など）	5,000円
部費	3,000円
雑費	7,000円
貯金	20,000円
計	100,000円



COMMUNITY SERVICE FACILITIES

福利厚生

キャンパス内には、学生・教職員の健康の保持・増進を図るための施設として「保健管理センター」があるほか、福利厚生に資するため食堂、売店、理・美容室、ATMなどがあります。また、学生の憩いの場として「学生ラウンジ」を設け、学生相互のコミュニケーション等に利用されています。



保健管理センター

保健管理センターは、学生及び教職員の保健管理に関する専門的業務を行い、心身の健康の保持増進を図るための施設です。ここでは、通常医師及び看護師が在室し、学内で発生したケガ等に対する応急処置、健康及び精神衛生に関する相談・助言並びに保健指導のほか、定期健康診断等もおこなっています。また、リハビリテーションに必要な機器も備えてあり、リハビリを行うこともできます。



学生食堂

食堂は明るく開放感があり、多くの学生が利用します。朝食はバイキング方式で朝練後の学生や授業に向かう学生でにぎわいます。また、昼食はアラカルト方式になっており、好みのメニューを選ぶことができます。このほか、日替り丼やカレー、うどん、ラーメンなどがあり、日替り丼はボリュームがあって人気です。



学生ラウンジ



売店



理・美容室



ATM



合宿研修所



ロッカー室

学費 SCHOOL EXPENSES

入学科等（平成31年度実績）

区 分		金 額	納 入 時 期
入学科		282,000円	入 学 手 続 時
授業料	前 期	267,900円	4月30日まで
	後 期	267,900円	10月31日まで
その他経費（各種保険料等）		76,060円	入 学 手 続 時

学費の免除

1. 入学科免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより入学科の納付が著しく困難であると認められる者は、願い出により入学科の全額又は半額が免除されることがあります（大学院生は経済的理由で申請可）。

2. 授業料免除

次に該当する者は、願い出により授業料の全額又は半額が免除される事があります。

- ① 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。
- ② 入学前1年以内において、学費負担者が死亡し、又は入学する者若しくは学費負担者が風水害等の災害を受けた者。

3. 入学科特別免除

入学前の競技成績（大学院の入試成績）の特に優れた者に対し実施します。AO（SS）入学者は全員、推薦入試入学者は競技成績により選考（申請不要）。

4. 授業料特別免除

在学中の競技成績又は学業成績の特に優れた者に対し実施します（申請不要）。

傷害保険 CASUALTY INSURANCE

教育研究活動中の不慮の災害事故の補償や、課外活動中・往復中の事故の補償のほか、他人への賠償等のために、次のような各種傷害保険を準備しています。

学生教育研究 災害傷害保険	保険料：3,300円（4年間）1,750円（2年間）
学生教育研究災害傷害 保険付帯賠償責任保険	保険料：1,360円（4年間）680円（2年間）
学生が体育実技や実験実習等の正課の授業中、学校行事、課外活動中等、教育研究活動中の事故や通学中等の事故によって被った傷害に対して、補償する制度。本学では、学生が安心して学業に励むことができるよう入学時に全員加入していただいています。	
スポーツ安全保険	保険料：7,400円（4年間）3,700円（2年間）
課外活動団体等でスポーツ活動、指導活動等を行う者がその活動中や往復中に生じた事故によって傷害を被った場合や他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして損害賠償責任を負った場合、補償する制度。本学では、学生が安心して課外活動ができるように学部生は入学時に全員加入していただいています。	
傷害総合保険	保険料（4年間） 一人暮らしA__55,210円 自宅学生D__47,200円 一人暮らしB__48,210円 自宅学生E__40,200円 一人暮らしC__44,040円 自宅学生F__36,030円
学研災付帯 学生生活総合 保険	保険料（4年間） 自宅A__56,610円 一人暮らしD__62,600円 自宅B__41,220円 一人暮らしE__47,210円 自宅C__36,790円 一人暮らしF__42,780円
教育研究活動中のみならず日常生活で生じたさまざまな事故に対して、総合補償する制度。損害賠償制度や学費・育英費用にも対応しており、加入は、任意となっています。	

※平成31年4月現在

経済支援 ECONOMIC SUPPORT

鹿屋体育大学修学支援基金

寄付金及びその運用により構成される「鹿屋体育大学修学支援基金」を創設し、経済的理由により修学が困難な学生の支援を行っています。

- ① 授業料、入学科又は寄宿料の全部又は一部を免除する事業
- ② 学資金を支給する事業
- ③ 学生の留学に係る費用を負担する事業 等

特別奨学金（本学独自の奨学金）

学資負担者の死亡・失職等の理由により、経済的に著しく困窮し、かつ修学態度が良好である学生に対して、「特別奨学金（20万円）」を給付します。

日本学生支援機構

① 第一種奨学金（無利子）

人物・学業ともに特に優れたかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

② 第二種奨学金（有利子）

人物・学業ともに優れたかつ健康であって、経済的理由により著しく就学困難と認められる者に貸与されます。

③ 入学時特別増額貸与奨学金（有利子）

日本政策金融公庫の教育ローンを低所得を理由に受けられなかった世帯向け。人的保証制度に代わる機関保証制度により、保証人がいない場合でも一定の保証料を支払うことにより奨学金を貸与されることがあります。

鹿屋体育大学 日本学生支援機構奨学生数一覧

学 部						
入学年度	学生数 a	一種	二種	併用 (一種＋二種) 内数	貸与 人数 b	貸与 人数 b/a
27	197	48	73	14	107	54%
28	193	50	64	13	101	52%
29	185	49	58	13	94	51%
30	180	70	48	15	103	57%
合計	755	217	243	55	405	54%
大 学 院						
入学年度	学生数 c	一種	二種	併用 (一種＋二種) 内数	貸与 人数 d	貸与 人数 d/c
28	8	4	0	0	4	50%
29	26	11	1	0	12	46%
30	15	7	1	1	7	47%
合計	49	22	2	1	23	47%

注）地方公共団体や民間の育英奨学事業団体等の奨学金もあります。

キャンパスカレンダー

※各行事の時期は年度によって変わることがあります。



4 新入生歓迎会

鹿屋の地に早く慣れ親しんでもらうことを目的に、入学式後に地元鹿屋市の皆さんによる新入生歓迎会が開催されます。歓迎会では、かんぱちや黒牛、黒豚などの地元の特産品を用いた料理が振る舞われるほか、様々な歓迎イベントが行われます。



前 期

4

- 新入生オリエンテーション
- 入学式
- 新入生歓迎会
- 前期授業開始
- 新入生合宿研修
- 競技力向上の会

5

- 体育会定例総会
- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）

6

- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）

7

- 大学説明会・体験授業
- 学期末試験
- 交通安全等講習会

8

- かのや夏祭り参加
- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）
- 第3年次編入学試験
- 夏季休業開始

9

- 大学院共同専攻入試
- 国際スポーツアカデミー



8 かのや夏祭り参加

地元鹿屋市の「かのや夏祭り」（かのや夏祭り実行委員会主催）に、学生、教職員で踊り連を結成し、参加しています。普段ご支援いただいている地元の皆さんと一緒に祭りを盛り上げています。



11 学園祭「蒼天祭」

蒼天祭では、模擬店のほか、本学名物のマッスルコンテストや豪華景品が当たるビンゴ大会、ゲストによるお笑いライブなど毎年趣向を凝らしたイベントが行われ、学外から多くの方が来場されます。また、スポーツパフォーマンス研究センター（詳細35頁）の見学・体験や研究成果等のパネル展示も行われ、本学の教育・研究に触れていただく場にもなっています。



後 期

10

- 開学記念日
- 後期授業開始
- AO(SS)入試第2次選考
- 大学説明会
- 大学院体育学専攻入学試験

11

- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）
- 健康セミナー
- 推薦入試及び特別入試
- 学園祭「蒼天祭」

12

1

- 大学入試センター試験
- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）

2

- 学期末試験
- 競技成績報告会
- 学生リーダーズセミナー
- 一般入試・私費外国人留学生入試
- 体育会定例総会

3

- 卒業証書授与式、学位記授与式
- 大学説明会（東京サテライトキャンパス）



3 卒業論文発表会

学部生は卒業論文が必修となっており、4年の後期に、指導教員のもと研究してきた成果の発表を行います。発表会では教員や学生と質疑応答が交わされます。



INTERNATIONAL EXCHANGE PROGRAM

国際交流

本学は、下の地図に示す9つの大学と大学間交流協定を結んでいます。このうち、上海体育学院（中華人民共和国）、韓国体育大学校（大韓民国）、国立体育大学（台湾）の3つの大学と学生交流（交換留学）を行っています。交換留学生は、学内で選考し決定しますが、交換留学の期間は1年以内で、派遣留学生数は1大学につき2名までとなっています。この他、平成30年度の短期研修は、台湾へ4名、アメリカ合衆国（ハワイ州）へ3名、オーストラリアへ3名が参加しました。

留学の意義を考慮し、留学先で修得した授業科目等の単位をできる限り本学で取得した授業科目として認定するための取扱いも定めています。

なお、留学先での奨学金貸与を希望する場合は、独立行政法人日本学生支援機構の「第二種奨学金（短期留学）」制度に申し込むことができます。

外国人留学生在籍状況（令和元年5月1日現在） 単位：人

国・地域	学生区分別内訳				計
	大学院生	学部学生	特別聴講学生	研究生	
中華人民共和国		3			3
台湾			1		1
大韓民国			2		2
アルゼンチン		1			1
ギリシャ	1				1
バングラデシュ	1				1
計	2	4	3	0	9

※「特別聴講学生」は、交換留学制度により交流協定大学から本学へ留学している学生です。

大学間交流協定状況

（令和元年5月1日現在）



鹿屋体育大学国際スポーツ・アカデミー形成支援事業

本事業は、文部科学省が公募した「スポーツ・アカデミー形成支援事業」に申請して採択された事業で、平成26年度から事業を開始しております。

本事業では、日本を含むアジア諸国におけるオリンピック教育プログラムの開発と、アジア各国にグローバルな人材を育成することを目的としています。その目的の達成に向け、国内外の大学や関係機関と連携し、主にアジア諸国の大学院レベルの学生や、各国のオリンピック委員会からの推薦が得られるトップコーチ、指導者を対象とした短期の国際セミナーを年1～2回開催しています。



海外インターンシップ（トビタテ！留学JAPAN）参加者からのメッセージ

私は、ポルトガルのポルトにサッカーの指導者留学をしました。現地では、優秀な指導者を多数輩出し独自の指導理論を持つポルト大学やポルトガル有数のサッカークラブであるFCポルトのサッカースクール等で研修しました。大学やグラウンドでは、日本では決してできない経験を得ることができました。今回の留学では、今後の指導者としての方向性やあるべき姿を見出すことができ、非常に有意義な1年にすることができました。留学では専門分野の知識に限らず、人生における大きな財産を得ることができます。みなさんもこんな体験をぜひしてみてください！



道言 栄太

Dogon Eita

体育学部 スポーツ総合課程
平成31年3月卒業
北海道立旭川商業高等学校出身

私は、アメリカのTexas Wesleyan Universityへ、バスケットボールのコーチング留学をしました。鹿屋体育大学入学時は留学に興味はなかったものの、学年が上がるにつれ、アメリカのバスケットボールの戦術に魅了され、現地で直接学びたいと思い、留学を決意しました。

留学中は、常にさまざまな経験と新たな発見をすることができました。また、留学を通して、自分の目指していた理想像に大きく近づくことができました。留学は、自分を見つめ直し、大きく成長する良い機会になります。ぜひ、海外への留学を挑戦してみてください。



野村 慧介

Nomura Keisuke

大学院体育学研究科
体育学専攻（修士課程） 2年
福岡県立春日高等学校出身

交換留学参加者からのメッセージ

私は、2018年3月より、協定校である上海体育学院に留学しました。上海にある国立大学ということで、多くの留学生在籍し、さまざまな国の人と交流を図り、刺激を受けることが出来ました。上海体育学院は、CEO WORLDによるスポーツ科学アカデミーランキングで世界 第69位、アジア1位（2018年現在）として認められています。アジアだけでなく、ヨーロッパ、アフリカ、欧米の方々も同じ留学生として多数在籍し、グローバルな人間を目指すには、とても良い環境でした。皆さんもぜひ、世界へ踏み出してみてください。

吉村 直記

Yoshimura Naoki

体育学部 スポーツ総合課程 3年
福岡県立京都高等学校出身

留学生からのメッセージ

私は、ギリシャの体育大学で初めて柔道と日本の武道に出会い、日本の文化全体に興味を持つようになりました。それと、柔道の競技パフォーマンスやそのパフォーマンスを改善するためのトレーニング科学に興味を持ち、鹿屋体育大学の修士課程に平成27年に進学しました。平成28年に修士課程を卒業したのですが、その年に修士課程で行った研究を進めていきたいという気持ちがあり、鹿屋体育大学の博士後期課程に入試試験を受けることにし、29年度に日本の文部科学省の国費留学生として、鹿屋体育大学の博士課程に入学できました。現在、鹿屋体育大学の柔道選手を対象に、これまで日本で行われたことがない、オリジナルトレーニングの効果について研究しています。

鹿屋体育大学で初めて日本の文化、研究の意味とその重要性を知り、来日する前の期待を遥かに超えたことを感じています。科学的な知識を深めることからはじめ、日本人のおもてなしを感じることができます。ぜひ、鹿屋体育大学へ来てください。

フダラキス イオアニス ヨルギオス

Choudalakis Ioannis Georgios

大学院体育学研究科 体育学専攻（博士後期課程） 3年



就職支援

キャリア形成支援室

キャリア形成支援室は、就職やキャリア形成について学生の皆さんをサポートするためのセクションで、以下の設備等を備えており、学年に関係なくだれでも利用できます。

- ☐ インターネットにより就職情報等を検索できるパソコン（2台）（利用時間/8:30～17:15）
- ☐ 求人資料、各種就職専門書・専門雑誌、資格試験雑誌等
- ☐ 貸出用就職関係図書、DVD

また、キャリア形成支援室には、就職相談員を配置し、就職相談に対応しています。相談曜日は原則として火・木となっています。

就職支援事業等（主なもの）

1 年次	☐ キャリアデザインⅠ ☐ キャリアデザインⅡ ☐ インターンシップ事前勉強会 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
2 年次	☐ キャリアデザインⅢ ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 就職活動・採用試験報告会 ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
3 年次	☐ キャリアセミナー ☐ キャリアコミュニケーション ☐ キャリア対策セミナー ☐ 企業実習 ☐ インターンシップ ☐ 学内企業説明会 ☐ 学外合同企業説明会 ☐ 就活スタートアップ講座 ☐ 自己分析・自己PR作成講座 ☐ SPI対策講座 ☐ 面接・グループディスカッション対策講座 ☐ 就職塾 ☐ 教員採用・公務員模擬試験
4 年次	☐ 教員採用・公務員模擬試験 ☐ 教員採用試験直前対策 ☐ 教育実習 ☐ 模擬面接 ☐ エントリーシート・履歴書の添削



教員対策・公務員対策

模擬試験を年数回実施しています。また、希望者に対しては、模擬面接も随時実施しています。



就職塾

年数回、休日を利用して外部講師を招いて「就職塾」を開講しています。この企画では、職業選択や自己分析についてアドバイスいただくとともに、履歴書の書き方や面接の心構えについても指導してもらいます。



学内企業説明会

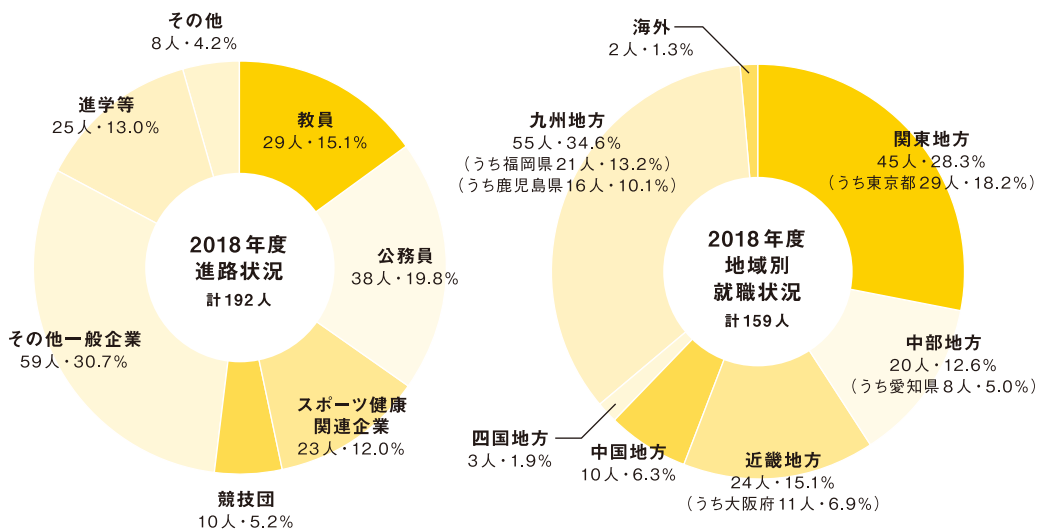
学内にて企業の採用担当者による企業説明会を開催しています。4月には数社合同による企業説明会も実施しています。



合同企業説明会セミナー

年1～2回福岡市で開催される合同企業説明会に、借り上げバスを利用して「日帰りバスツアー」を行います。

就職実績



卒業・終了後の進路状況等は
このQRコードへアクセス願います

主要就職先

最近5年間における職種別の主な就職先は、以下のとおりです。

教員（臨時的任用教員・非常勤講師を含む）

茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県ほか

公務員

〔行政職〕桜川市、土浦市、伊勢崎市、岡谷市、藤枝市、名古屋市、鳥取市、福山市、坂出市、鹿屋市、名護市ほか〔警察官〕警視庁、埼玉県警、神奈川県警、愛知県警、京都府警、大阪府警、兵庫県警、広島県警、福岡県警、佐賀県警、長崎県警、熊本県警、宮崎県警、鹿児島県警ほか〔刑務官〕東京拘置所、札幌刑務所、甲府刑務所、岐阜刑務所、奈良少年刑務所、加古川刑務所、釧路刑務所、熊本刑務所、大分刑務所、鹿児島刑務所ほか〔消防士〕東京消防庁、前橋市、春日井市、一宮市、名古屋市、大阪市、尼崎市、広島市、西宮市、佐世保市、福岡市、大隅肝属地区ほか〔その他〕陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、自衛隊体育学校、青年海外協力隊ほか

スポーツ関連企業

アシックスジャパン、カープスジャパン、コナミスポーツ&ライフ、THINKフィットネス、セントラルスポーツ、太陽スポーツクラブ、チャコット、ドーム、ドームヒューマンキャンパス、広島東洋カープ、ヒマラヤ、東大阪スタジアム、松本山雅FC、ミウラ・ドルフィンズ、モンベル、ミズノ、リーフラス、ルネサンスほか（敬称略）

プロ・実業団等の選手

〔サッカー〕アビスパ福岡、愛媛FC、鹿児島ユナイテッドFC、ギラヴァンツ北九州、サガン鳥栖、湘南ベルマーレ、栃木SC、ヴェルスパ大分、プリオベッカ浦安、ブラウブリッツ秋田、ホンダロックSC、〔バレーボール〕大野石油広島オイラーズ、上尾メディックス、黒部アクアフェアリーズ、トヨタ車体クインシーズ、PFUブルーキャッツ、フォレストリーヴズ熊本、富士通テンレッドフェニックス、マックスバリュ・ヴィクトリーナ〔バスケットボール〕AC播磨イーグレッツ、OTCきくや、紀陽ハートビーツ、新潟アルビレックスBBラビッツ、山梨クイーンビーズ、レバンガ北海道、〔自転車〕愛三工業レーシングチーム、宇都宮ブリッツェン、KINAN Cycling Team、Ciel Blue鹿屋、シマノレーシング、TeamUKYO、チャンピオンシステム、NIPPO VINIFANTINI De Rosa、UVCA Troyes Fem〔陸上競技〕資生堂ジャパン、京セラ

その他の一般企業

アイケイケー、伊藤忠エネクス、一条工務店、ANA新千歳空港、ANAエアポートサービス、大隅鹿屋病院、鹿児島銀行、鹿児島テレビ、河合楽器製作所、京都西川、コカ・コーラボトラーズジャパン、JFEスチール、JTB、JR九州、積水ハウス、住友林業、スターフライヤー、スポーツフィールド、セブン-イレブン・ジャパン、大和ハウス工業、大東建託、大創産業、第一生命保険、東和薬品、長島観光開発、日本マクドナルド、日本生命保険、日本郵政、日本防蝕工業、日本通運、ニプロ、ネットヨタ各店、福岡放送、ホリプロ、マイナビ、南日本放送、楽天、安川電機、横浜銀行ほか（敬称略）

進学

筑波大学大学院、埼玉大学大学院、信州大学大学院、愛知教育大学大学院、福岡教育大学大学院、九州大学大学院、熊本大学大学院、鹿屋体育大学大学院ほか

就職活動体験談

まずはやってみる

初めての就職活動は不安もありましたが、まずは自己分析や企業研究を行い、分からないことは就職相談員に相談に乗っていただくなど、できることから取り組んでいきました。また、就職活動では自分がやりたいことを理解しておくことが重要だと感じました。私はさまざまな実習を通して将来の幅を広げたことで、やりたいことが明確になり、今に繋がったと思います。実際に体験しないと分からないことがあるので、自ら行動を起こし、まずはやってみる姿勢が大切だと感じました。

貞中 愛莉

Sadanaka Airi

- スポーツ総合課程
- 平成30年度卒業
- 高松市立高松第一高等学校出身
- 勤務先：株式会社Reファイン



卒業生からのメッセージ

MESSAGES FROM GRADUATES



成長できる場所

鹿屋での4年間は自分にとってかけがえのない時間でした。優しい先輩方や町の方々の温かさのおかげで1人の人間として成長することができ、大学の施設や環境、素晴らしい先生方のご指導もあってプロサッカー選手になる夢を叶えることができました。人と人との繋がりを大切に、夢や目標に向かって頑張ってください。応援しています。

日本プロサッカーリーグ サガン鳥栖 MF

樋口 雄太 Higuchi Yuta

平成31年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
福岡常葉高等学校出身

限界は自分で決めない

鹿屋体育大学で過ごした4年間は私にとっての誇りです。部活を超え、学年を超え高い目標に向かって取り組む多くの仲間に出会えました。また、地域の方々ともとても距離が近く、この鹿屋だから出来たことも沢山あったと思います。

鹿屋体育大学では、自分自身の限界を超えることが出来るだけの施設、環境、指導者そして何よりも共に高め合える仲間に出会うことができます。鹿屋で過ごした4年間は社会人となった今でも励みとなっています。

鹿屋では、可能性を無限に広げることができます。ぜひ、楽しい大学生活を送ってください。

ANA エアポートサービス (株)

高田 奈生 Takada Nao

平成30年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
私立ブル学院高等学校出身



スポーツ科学の奥深さを知る

私は、現在研究員として立命館大学で運動生理・トレーニング科学の研究を行っています。大学入学時には「高校の体育教師になる!」と心に決めていました。しかし、学年を重ねるにつれてスポーツ科学の奥深さを知り、もっと知りたいと思っていたら博士課程まで進学していました。

鹿屋体育大学には最先端のスポーツ科学の実験機材がそろっており、それを学部生でも使うことができます。そのような大学は他にはありません。しかも最先端の機材があるだけではなく、スポーツ科学の魅力をわかりやすく伝えてくださる素晴らしい先生方がいることが鹿屋体育大学の最大の魅力だと私は思っています。

立命館大学 スポーツ健康科学部 ポストドクター (日本学術振興会 特別研究員) ※2019年3月現在

森 寿仁 Mori Hisashi

平成23年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
平成25年3月 大学院体育学研究科修士課程修了
平成28年3月 大学院体育学研究科博士後期課程修了
大阪府立岸和田高校出身



鹿屋体育大学を卒業して

在学中は水泳部に所属していました。中でも一番の思い出は朝4時に起き、週に10回の練習を共に乗り越えてきた同期との4年間です。毎日苦楽を共にしてきた仲のため、卒業後の今でも毎日連絡を取り合っています。そして現在私は、大阪府警察に勤務しています。そこでは、鹿屋体育大学を卒業したということで多くの方に「鹿屋出身って聞いたで!」「スポーツ何してたん?」などの声をかけて頂き、「鹿屋が母校よかった」と日々うれしく思います。また、社会人になった今でも、職場の方と共にスポーツを楽しんでいます。

好きなことに打ち込み、鹿屋で良かったと思えるような悔いのない学生生活を送ってください。

大阪府警察

竹林 愛花 Takebayashi Aika

平成30年3月 体育学部スポーツ総合課程卒業
四條畷学園高等学校出身

自分をつくる場所

私は今、中学校教諭として現場に出て、保健体育の授業と学級担任をしています。鹿屋で過ごした4年間で、自分の就きたい仕事に対する信念を見つけることができました。

保健体育教師を志し、日々学んだ4年間はかけがえのないものでした。手厚いサポートをしてくださる先生方や職員のみなさま、親切にくださる面倒見のいい先輩、ともに頑張れる仲間、応援してくれる後輩など、鹿屋体育大学で出会ったすべての方々に感謝しています。

ここでの学び、経験、出会いが自分の原点。信念を見つけ、自分をつくることができました。生きるうえで必要な信念を見つけ、可能性を広げてください。

吹田市立豊津中学校

枝 幹久 Eda Mikihisa

平成30年3月 体育学部武道課程卒業
栃木県立矢板東高等学校出身



CAMPUS AND FACILITIES



① ゴルフ練習場

南側の丘陵斜面に設置され、打席数は11、フェアウェイは130m×38mの広さです。



② スポーツパフォーマンス研究センター

本学が推進するスポーツパフォーマンス研究の拠点施設です（詳細は35頁）。



③ 合宿研修所

本学学生の合宿研修及び本学の主催する講習会、研修会等に参加する外来者の合宿研修に使用する施設で、講師宿泊室5室、洋室（ベッド数8）9室、和室（15畳、6名収容）6室、があり、計113名が宿泊可能です。その他に、研修室（50名、20名）を2室設置しています。



④ 陸上競技場

全天候型の400mトラックで競技会ができる3種公認競技場です。



⑤ トレーニング場

主に屋外競技用のトレーニング施設で、科学的トレーニングを行うための各種ウエイトトレーニング機器等が設置されています。



⑥ サッカー場・ラグビー場

公式競技用としての広さを有し、サッカー場・ラグビー場それぞれ全面天然芝張で照明設備も設置されています。



⑦ 野球場

両翼92m、中堅117mあり、スコアボードは本部席から操作できるように判定表示装置が設置されています。



⑧ 附属図書館

附属図書館は、1階に受付カウンター、開架閲覧室、2階に開架書架、グループ学習室などを設置しています。一般市民の方々も利用可能です。



⑨ 武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設です（詳細は34頁）。



⑩ 総合体育館（主体育館/1F）

総合体育館は各種公式競技に対応できるよう設計されており、主体育室は球技用としてバスケットボール2面、バレーボール2面、テニス2面、ハンドボール2面、バドミントン8面の競技が可能なスペースを確保でき、また、450名収容可能な移動観覧席が2か所に設置されています。その他、体操練習室、ダンス練習室、トレーニング室があります。



⑩ 総合体育館（体操練習室/2F）

体操練習室には、鉄棒、跳馬、あん馬、つり輪、ゆか、平均台、平行棒等の体操競技に必要な器具・設備が設置され、公式競技も可能となっています。



⑪ 球技体育館

室内競技専用の体育館で、バレーボール（バスケットボール）、バドミントン、卓球の専用室があります。



⑫ 屋内実験プール

泳ぎについて科学的に教育研究活動が行えるように最新鋭の設備機器と50m長水路、25mの短水路のコースを備えた日本で唯一の実験プールです（詳細は34頁）。



⑬ テニスコート

ハードコート、オムニコートがあり、照明設備も設置されています。



屋内実験プール

単に水泳競技用を使用するだけでなく、「泳ぎ」について運動力学、運動生理学的見地から科学的に教育研究活動が行えるよう最新鋭の機器を備えた施設です。1階は、水泳、シンクロナイズドスイミング、高飛び込み競技や50m長水路のプール(8コース)、25m短水路のプール(8コース)のほか、実験研究用コース(3コース:ミラー、ペースメーカー等の実験用器材を設置)、飛び込み台(5m、3m、1m)、可動式床(水深0m～2m調整可)、水泳フォームをあらゆる角度から分析できる加減圧調整可能流水プール、データ解析室等の設備を備えています。2階はミーティングルームのほか、上部からもビデオ撮影及び見学ができるキャットウォークも設置されています。水温は適温に調整され、薬剤注入や滅菌が自動的にできる循環濾過装置も設置されています。



柔道場



剣道場

武道館

武道の継承、振興及び競技力の向上を目指す本学武道課程の中心施設。1階に柔道場と相撲場、2階に剣道場、武道館に隣接して弓道場があります。

- 柔道場** 公式競技が同時に2面可能な342畳敷の柔道場、さらにサブ道場(136畳敷、ウェイトトレーニング用機器常置)も設置されています。
- 剣道場** 公式競技が2面可能な剣道場及びサブ剣道場があり、床は松材です。
- 相撲場** 武道館1階に設置されています。
- 弓道場** 武道館に隣接しており、6人立ちが可能となっています。



相撲場



弓道場



スポーツパフォーマンス研究センター

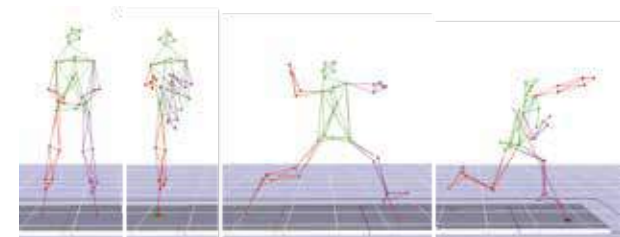
平成27年3月に設置されたスポーツパフォーマンス研究棟は、平成30年4月にスポーツパフォーマンス研究センターとして組織されました。本センターは国内初となるスポーツ分野のコーチングに特化したパフォーマンス研究の科学的検証を行う最先端研究設備を備えた学内共同教育研究施設です。本センターには、世界最長50mのフォースプレート(注1)、投打マルチ解析システム(注2)、モーションキャプチャシステム(注3)、オブジェクトトラッキングシステム(注4)等の最新の測定機器が設置されており、陸上、テニスなどの個人種目に限らず、野球やサッカーなどのチーム種目における身体活動量測定やゲーム分析をはじめとする多様なスポーツパフォーマンス測定を屋内で実施することができます。測定室となる測定アリーナは、面積約3,500㎡、有効高さ15mで、床面は屋外球技用の人工芝と、陸上用のウレタン走路とで構成されています。



(注1) フォースプレート：
①1mサイズのフォースプレートを直線上に50枚並べたシステム
②走行直線に50枚のフォースプレートを設置
歩行や走行など動作をする際にかかる力量を測定できる機器



(注2) 投打マルチ解析システム：フォースプレート完備のピッチャーマウンド・バッターボックスで、ピッチャーとバッターの同時測定が可能(写真はマウンド)



(注3) モーションキャプチャシステム：
反射マーカークの三次元位置情報をデジタルデータとして取得できる機器



(注4) オブジェクトトラッキングシステム：選手に装着したセンサーから座標位置、移動速度、身体の向き、心拍数などの情報を無線方式でかつリアルタイムに測定可能な機器

附属図書館 Library

附属図書館では、教育研究活動に必要な専門図書や一般教養図書のほか、体育・スポーツ、レクリエーションや武道分野の雑誌、映像資料等DVDも数多く所蔵しています。電子ジャーナル、英文多読に最適な電子図書も利用できます。また、グループ学習室もあり、タブレットPCを使ったグループディスカッションなど学生の自学自修の場としても活用できます。



■附属図書館ホームページ <http://www.lib.nifs-k.ac.jp>



国際交流センター

International Exchange and Language Education Center

国際交流センターでは、「スポーツ・異文化理解・語学の3本柱を有機的に結びつけた事業を通して、本学のグローバル化を推進する」というビジョンに基づき、よりよい語学教育カリキュラムの開発、海外の交流協定締結校からの留学生の受け入れ及び本学学生の派遣、米国ハワイ及びオーストラリアシドニーへの海外短期研修プログラム、スポーツ・武道を通じた国際交流活動、留学生と日本人学生の交流活動、国際スポーツ・アカデミー事業の支援などを行っています。



国際交流センター2階の
Communication Room 1

海洋スポーツセンター

Center for Water Sports and Sciences

海洋スポーツに関する理論教育・実技指導及び研究活動を行うほか、広く海洋スポーツに関する研修会・講習会の開催、課外活動等にも活用し、実践的指導者の養成、競技力の向上及び生涯スポーツとしての底辺拡大を目指しています。

また、海洋スポーツを通じた諸外国の指導者や競技者との国際交流に資することも目的としています。



スポーツトレーニング教育研究センター

Center of Sports Training Research and Education

高度な測定機器やトレーニング機器を本センターに集中的に配置し、学内共同利用施設として、教員はもとより学部生や大学院生が自由に施設を活用して、トレーニングの研究や教育を行う場を提供しています。また、各種のトレーニングの意義や効果を科学的に分析・評価するために、様々な研究プロジェクトも行われています。

たとえば、発育・発達段階に応じた一般児童生徒の体力づくりや、ジュニアアスリートのトレーニングの新たな方法を開発するために、地域の小・中・高等学校と連携して体力測定を行い、そのデータに基づいたトレーニングを長期的な視点で行っています。また、様々なスポーツ種目に携わる本学の選手や国内の一流選手を対象として、同様の研究も行っています。これらの研究成果を講習会、学術誌、広報誌などを通じて、学内外に情報発信しています。



プロスキーで
登山家の三浦浩一郎さん

多彩に広がる教育・研究・スポーツ環境

スポーツ情報センター

Information Technology Center for Sports Sciences

情報通信技術を用いた教育と研究を支援するとともに、情報の発信を通じて体育・スポーツの進展に寄与することを目的としています。

各種のネットワークサービスをはじめ、三次元動作分析装置や高速度カメラなどスポーツ科学の実験設備を利用者に提供しています。情報処理演習室は平日22時まで開室しており、研究情報の収集やレポート作成など、連日多くの学生に利用されています。



生涯スポーツ実践センター

Interdisciplinary Research Center for Lifelong Sport and Physical Activity

生涯スポーツに関する実践指導と学際的な研究・教育を広く社会との連携を図りながら行うことを目的としています。

主に、人々の各ライフステージに応じた運動・スポーツプログラムの開発・指導、地域のスポーツ振興や健康づくり、地域スポーツプログラムの育成支援、生涯スポーツ指導者の育成支援、運動・スポーツプログラムの地域社会への効果の測定などに関する教育研究を行っています。



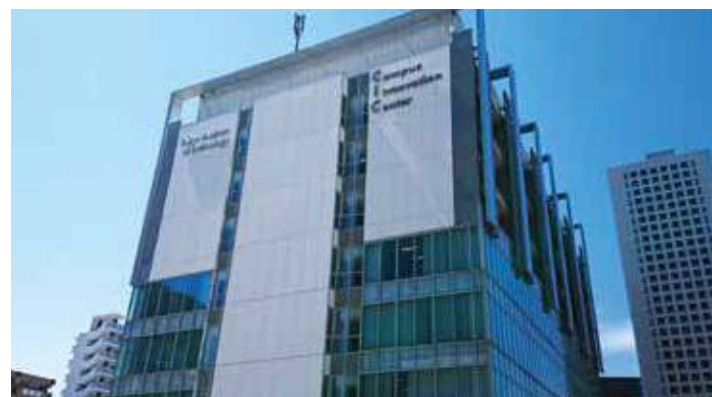
東京サテライトキャンパス

Tokyo Satellite Campus

鹿屋体育大学の首都圏での教育研究の振興及び社会との連携等の拠点としての役割を担っています。

具体的には、大学院の講義や公開講座、大学説明会等が行われているほか、筑波大学との連携や首都圏における広報活動、産学連携事業の推進及び学生の就職活動の拠点としても活用されています。

平成25年度より筑波大学東京キャンパス文京校舎内に設置しておりましたが、平成31年2月に東京工業大学キャンパス・イノベーションセンターへ移転しました。



EXTRACURRICULAR ACTIVITIES

本学には、現在、23の体育系課外活動団体と2つの研究会があり、ほとんどの学生が加入しています。特に、多くの体育系課外活動団体では、全国規模の大会で優秀な成績を収めるなど、活発な活動を展開しています。課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、社会の一員として必要な資質を身に付けたり、教養を高めるなどの大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られるさまざまな体験は、学生生活をより充実させ、一生忘れることのできないすばらしい思い出にもなります。したがって、学生が各自の関心と適性にあった課外活動団体に所属し、より高い専門的知識や技能を身に付けるために積極的に活動することをお勧めします。



課外活動団体紹介



NIFS プログ

04 男子バレーボール部

部 員 数：5名(男子5名)

練習日・時間：(月～金)16:15～19:30(土)10:00～13:00

主 な 成 績：

- 第29回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位
- 第1回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会 4位
- 第30回全日本ビーチバレーボール大学男女選手権大会 4位

男子バレーボール部は、インドア・ビーチバレー共に「日本一」を目指して活動しています。部員は少ないですが、一人ひとりが高い意識を持ち、お互いに切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。



01 陸上競技部

部 員 数：104名(男子67名、女子37名)

練習日・時間：(月・火・木・金)16:00～20:30
(土)9:00～12:30

主 な 成 績：

- 平成22年日本学生陸上競技対校選手権大会
女子多種目優勝校(800m, 1500m, 棒高跳び, 槍投)
- 平成23年日本陸上競技選手権大会 男子砲丸投2位
- 平成29年日本陸上競技選手権大会 男子三段跳3位

陸上競技部は、5名の教員(コーチ)の指導のもと、各競技ブロックに分かれて精力的に活動を行っています。また、部の運営は学生が主体であり、主将・主事を中心となり、34の役職を、部員ほぼ全員で担っています。



05 女子バレーボール部

部 員 数：24名(女子24名)

練習日・時間：(火～金)16:15～19:45
(土・日)7:30～11:00、14:30～17:30
※朝練(火～金)6:45～7:15

主 な 成 績：

- 平成22年第57回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
- 平成25年第60回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝
- 平成28年第63回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会 優勝

女子バレーボール部の目標は「日本一」、テーマは「挑戦」です。目標達成に向けて部員一人一人がそれぞれの役割を果たす為、日常生活や練習で常に様々なことに挑戦し続け、周りの方々への感謝の気持ちを忘れずにチーム一丸となって練習に取り組んでいます。



02 硬式野球部

部 員 数：52名(男子51名、女子1名)

練習日・時間：(月・火・木)16:10～20:00
(金)16:00～19:00(土・日)8:30～17:00

主 な 成 績：

- 平成30年鹿児島県大学野球春季リーグ戦 優勝
- 第99回九州地区大学野球選手権南部九州ブロック大会 準優勝
- 第68回九州地区大学体育大会 準優勝

「思考する野球」というスローガンの基、鹿屋体育大学が誇る最高の施設と、最新のスポーツ科学技術を利用しながら日々練習に打ち込んでいます。日本一のチームワークを武器に全日本大学野球選手権に出場し、野球界に一石を投じます！



06 男子バスケットボール部

部 員 数：27名(男子27名)

練習日・時間：(月・木)16:00～19:00(火)18:30～21:30
(金)16:30～20:00
(土)10:00～11:00、13:00～15:00

主 な 成 績：

- 平成23年全国大学選手権大会 ベスト8
- 平成28年天皇杯 出場
- 平成28年全国大学選手権大会 ベスト32

私達はインカレで関東に勝つことを目標に掲げ、日々練習に取り組んでいます。また、愛し愛されるチームという理念の基、部活動以外にも審判活動やバスケットボールキャンプを行い、地域との関わりを大切にしています。選手はもちろん学生コーチやトレーナー等の入部を希望しています。



03 テニス部

部 員 数：25名(男子16名、女子9名)

練習日・時間：(月・火・木・金)16:30～19:00(土)9:30～13:00

主 な 成 績：

- 平成30年度全日本大学対抗テニス選手権 男子団体ベスト8
- 平成30年度全日本大学対抗テニス選手権 女子団体ベスト8
- 平成30年度全日本学生室内テニス選手権 女子シングルス3位

テニス部は、一人一人が意欲的に練習を行っており、お互いに高め合ういい雰囲気で行っています。部としての目標は、全国王座で団体ベスト4と九州学生選手権大会での全員本戦出場を掲げて日々練習に取り組んでいます。



07 女子バスケットボール部

部 員 数：22名(女子22名)

練習日・時間：(月)18:30～21:00(火・水)16:20～19:00
(金)16:20～18:00(土)9:30～13:00
※朝練(火・水)7:00～8:00

主 な 成 績：

- 平成27年度九州学生春季トーナメント 優勝
- 平成29年度全日本学生選手権 第4位
- 平成25/27/28/29/30年度 全日本選手権(皇后杯) 出場

女子バスケットボール部は各自が目標をしっかりと見据えて、競技力だけでなく指導力・審判・運営・学業も含めた向上を目指し、各々のキャリアに関わらず全員一丸となって活動に取り組んでいる元気で明るいチームです。





08 サッカー部

部 員 数：97名(男子95名、女子2名)
練習日・時間：(月～金)16:00～18:00
(土・日)9:30～12:00

主 な 成 績：

- 平成25年度全日本大学サッカー選手権 3位
- 平成25年度全日本大学サッカートーナメント 3位
- 平成30年度全日本大学サッカートーナメント ベスト8

サッカー部は、「勇往邁進」をスローガンに掲げ、学生に対し多くの試合経験を作ることを中心に、3チームに分かれて活動しています。またサッカーの競技活動だけでなく、小・中学生の指導や幼稚園や保育園への巡回指導など、サッカーを通じての人間形成と地域貢献を行えるよう活動しています。



09 ラグビー部

部 員 数：1名(男子1名)
練習日・時間：(日)10:00～12:00

主 な 成 績：

- 平成29年度社会人7人制ラグビー フレンドリーシップ優勝

ラグビー部は、社会人チームである鹿屋ウォンパツ、ろっこうクラブに参加させてもらい、社会人1部リーグで、春季、秋季と試合に出場しています。

※平成30年度部員と社会人チームとの写真



10 体操競技部

部 員 数：28名(男子26名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～20:30
(水)16:15～17:30(土)15:15～19:00

主 な 成 績：

- 平成29年度全日本種目別選手権 男子あん馬優勝
- 平成30年度アジア競技大会 男子団体準優勝
- 平成30年スロベニア国際 男子鉄棒優勝

体操競技部は「至誠通天」をスローガンとし、チーム一丸となり日本一を目指しています。また個々の目標を掲げ、レベルに応じたレベルアップと目標達成のために日々練習に励んでいます。



11 水泳部

部 員 数：29名(男子17名、女子12名)
練習日・時間：(月～金)16:00～19:00(土)8:30～12:00
※朝練(火・木)5:30～8:00

主 な 成 績：

- 2004年アテネオリンピック女子800m自由形 柴田亜依 優勝
- 2005～2008、2012日本学生選手権 女子団体優勝
- 国際大会代表選手 16名

水泳部は、人格形成と競技力向上を目的に活動しています。今年のスローガンは「燎」。9月の日本学生選手権でベストパフォーマンスを発揮できるよう部員全員が主体的に取り組んでいます。

12 柔道部

部 員 数：63名(男子47名、女子16名)
練習日・時間：(月・火・木)16:20～20:00(水)16:20～19:00
(金)16:20～19:30(土)9:00～12:00
※朝練(月・火・木・金)6:30～7:30

主 な 成 績：

- 平成27・25年講道館杯全日本柔道体重別選手権大会 男子66kg 優勝 女子48kg 優勝
- 平成29年九州学生柔道優勝大会 女子5人制優勝 男子準優勝
- 平成29年全日本学生柔道体重別選手権大会 男子100kg・女子78kg 3位

柔道部は人間形成と競技力向上に重きを置き、男子平崎主将・女子飯野主将を中心に「不撓不屈」の精神で日々厳しい稽古に励んでいます。部のスローガンでもある「地方から日本一、鹿屋から世界へ!」を実現するべく部員一丸となり精進していきます。



13 剣道部

部 員 数：123名(男子88名、女子35名)
練習日・時間：(月～木)16:30～18:30
(金)16:00～17:30(土)9:00～12:00
※朝練(火・木)6:50～7:30

主 な 成 績：

- 全日本学生剣道優勝大会 男子4回 女子10回優勝
- 全日本学生剣道選手権大会 男子4回 女子6回優勝
- 西日本学生剣道大会 男子17回 女子19回優勝

剣道部は「朝鍛夕錬」の言葉掲げ、伝統である三段稽古を中心に鍛錬し、日々の稽古に励んでいます。男女共に大学日本一を目指しつつ、少年剣道の指導や大会の審判等の活動を行っており実技指導力も身につけています。



14 ヨット部

部 員 数：14名(男子12名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～18:30
(土・日)8:30～18:00

主 な 成 績：

- 平成27年全日本学生ヨット選手権大会 スナイプ級優勝
- 平成30年全日本学生女子ヨット選手権大会 470級3位

チーム目標は全日本インカレでの総合入賞です。「貫く」をスローガンに目標に向かって部員一丸となって活動していきます。



15 漕艇部

部 員 数：6名(男子3名、女子3名)
練習日・時間：(月～金)16:00～20:00(土)8:00～17:00

主 な 成 績：

- 平成30年度全日本ボート選手権大会 女子ダブルスカル 第2位
- 平成30年度全日本ボート軽量級選手権大会 男子ダブルスカル 第8位
- 平成30年度全日本ボート軽量級選手権大会 女子シングルスカル 第4位

漕艇部は、全部員がインカレでA決勝に進出しメダルを取ることを第一の目標とし、全日本選手権でも入賞を目指しています。部の雰囲気は、とても明るく賑やかです。お互いを刺激しあって、日々トレーニングに取り組んでいます。



16 自転車競技部

部 員 数：31名(男子27名、女子4名)
練習日・時間：(月～金)16:00～18:00(土・日)9:00～14:00
※朝練(月～金)6:00～7:30
主 な 成 績：

- 平成27年世界トラック選手権(パリ) 女子ポイントレース 銀メダル
- 平成28年リオデジャネイロ五輪 関係者2名卒業
- 全日本インカレ 男女総合優勝(男子:4回 女子:13回)

世界を相手に活躍できる選手を輩出すること、日本で自転車競技をメジャーにし、未来の自転車界を支える人物を育成することをモットーに日々活動しています。温暖な気候を生かして1年中充実したトレーニングが出来るとともに、大学の研究設備を用いた科学的トレーニングも積極的に取り入れています。

20 ウインドサーフィン部

部 員 数：11名(男子7名、女子4名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:15～18:30
(土)9:00～17:00
主 な 成 績：

- 2017 RS:Xウインドサーフィン世界選手権 出場
- 平成29年全国学生ボードセーリング選手権(個人戦) 5位
- 2018 PWA フォイルクラス ユース年間ランキング1位

毎日練習出来る施設、錦江湾の綺麗な海は唯一です。海を滑走する爽快感はウインドサーフィンの特徴です。部員一丸となって、全日本学生選手権での活躍を目標に元気に取り組んでまいります。



17 カヌー部

部 員 数：21名(男子18名、女子3名)
練習日・時間：(月～金)16:00～20:00(土)8:00～17:00
主 な 成 績：

- 第54回全日本学生カヌースプリント選手権大会
男子カナディアンシングル1000m優勝
- 同上 女子カヤックシングル200m優勝
- 同上 男子カヤックシングル200m第3位

私たちカヌー部は、国際大会での日本代表として活躍すること、全日本学生選手権優勝が大きな目標です。また、自己の鍛錬はもとより、団体活動の中で個性を生かしつつ、部の発展に寄与していくことで、より高い人格の形成を目指しています。



21 アスレティックトレーナー部

部 員 数：23名(男子18名、女子5名)
練習日・時間：(水)20:00～22:00
主 な 成 績：

アスレティックトレーナー部は、様々な課外活動団体に所属している学生で構成されています。週1回の勉強会に加えて各課外活動団体での実践を普段から心がけるとともに、優秀な選手やトレーニング設備等が数多くあるなど本学の多くの利点を生かしていくことを目指しています。



18 なぎなた部

部 員 数：9名(女子9名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(土)9:00～12:00
主 な 成 績：

- 平成28年度第55回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝 個人試合の部 第3位 演技競技の部 第3位
- 平成29年度第56回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 優勝 個人試合の部 第3位
- 平成30年度第57回全日本学生なぎなた選手権大会
団体試合の部 準優勝 個人試合の部 優勝

なぎなた部は、専門の指導者がいない中で、一人一人が高い意識を持ち、お互い切磋琢磨しながら稽古に励んでいます。今年度も部員全員が成長していきえるような環境をつくり上げ、インカレ団体優勝を目指して精進してまいります。



22 ゴルフ部

部 員 数：3名(男子3名)
練習日・時間：(月・水・金)16:30～18:30(土)8:30～16:30
主 な 成 績：

- 平成23年度ドラコン日本選手権 出場
- 平成24年度鹿児島県大学ゴルフ選手権 4位

ゴルフ部は、ゴルフを通じた人とのつながりを大事にして、楽しくプレーすることをテーマに活動しています。大学内には、奥行き140ヤードの練習場があり、週末にはコースでの練習、ラウンドもでき、練習環境はとても充実しています。人数が少ない中でも精一杯活動して頑張っています。



19 セパタクロー部

部 員 数：9名(男子9名)
練習日・時間：(月～木)16:00～19:00(金)16:00～21:00
(土)13:30～16:00
主 な 成 績：

- 平成21年度全日本学生セパタクロー選手権 男子 3位
- 平成27年度全日本ビギナズカップ 男子 準優勝
- 平成28年度全日本セパタクロージュニア選手権大会 ベスト16

セパタクローは、空中の格闘技とも呼ばれ、アクロバティックな動きが特徴です。日本では、大学から始める選手がほとんどで、競技歴が短くても日本代表に選ばれる可能性も大いにある競技です。全日本大会優勝、日本代表選抜を目指して日々、切磋琢磨しています。



23 ダンス部

部 員 数：9名(男子7名、女子2名)
練習日・時間：(月・火・木・金)16:30～19:00
主 な 成 績：

- 第31回全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 創作コンクール部門 出場
- ワールドダンスコンペティション in NIIGATA ソロ部門、グループ部門 出場
- アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ
(第20回少人数による創作ダンスコンクール) 出場

ダンス部は、ヒップホップやジャズ、創作ダンスまで幅広いジャンルで活動しています。壁一面に鏡のあるダンス練習室という恵まれた環境で、仲間とのつながりや地域との交流を大切に、様々な身体表現の可能性を追求しています。



ENTRANCE EXAMINATION INFORMATION

平成31年度入学者選抜実施結果

スポーツ総合課程

単位：名

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	10	8(4)	8(4)	8(4)	8(4)
推薦入試	50	73(24)	73(24)	52(20)	52(20)
一般入試	60	232(43)	218(41)	70(16)	67(15)
特 別 入 試	帰 国 子 女	若干人	1(0)	1(0)	1(0)
	社会人	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)
計	120	316(71)	302(69)	132(40)	129(39)
第3年次編入	20注1)	48(7)	48(7)	20(1)	18(1)

() は、女子で内数。 注1) 第3年次編入学の募集人員は、スポーツ総合課程と武道課程と共通。

武道課程

単位：名

区 分	募集人員	志願者	受験者	合格者	入学者
AO(SS)入試	5	4(3)	4(3)	4(3)	4(3)
推薦入試	20	24(8)	24(8)	21(7)	21(7)
一般入試	25	56(11)	55(11)	29(5)	27(4)
特 別 入 試	帰 国 子 女	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
	社会人	若干人	0(0)	0(0)	0(0)
私費外国人留学生入試	若干人	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
計	50	84(22)	83(22)	54(15)	52(14)
第3年次編入	20注1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

大学説明会及び体験授業（鹿屋体育大学白水キャンパスで開催）

大学説明会

第1回 | 令和元年 7月13日(土) 10:20～16:00

第2回 | 令和元年 10月12日(土) 10:20～16:00



本学の特色や教育・研究の内容について理解を深めてもらうとともに、施設見学等により、進路選択の参考としてもらうために次のとおり実施します。受験生、保護者、高校の先生方など多数の参加をお待ちしています。

①在学生からのアドバイス ②質疑応答 ③実験、実習体験を含む施設見学 ④大学案内・入試資料・記念グッズ配付

体験授業

本学の教育・研究内容を少しでも知っていただくために、高校生受験希望者（保護者を含む）を対象に次のとおり体験授業を企画いたしました。多数の参加をお待ちしています。

実施日 | 令和元年 7月14日(日)

A	科 目 名	楽しい体育授業について考えよう！		
	担 当	浜田 幸史	時 間	9:00～10:10 (70分)
	授業内容	学校体育に関するアイスブレイクやグループワークを通して、楽しい体育授業について考えてみましょう。	募集人員	32名
B	科 目 名	体カトレーニング		
	担 当	小森 大輔	時 間	10:30～11:40 (70分)
	授業内容	様々な体幹トレーニングを体験し、競技種目に応じたトレーニングを探そう。	募集人員	30名



東京サテライトキャンパスでの大学説明会（所在地：東京都港区芝浦3-3-6）

- 第1回 令和元年 5月19日(日)
- 第2回 令和元年 6月16日(日)
- 第3回 令和元年 8月10日(土) ※
- 第4回 令和元年 8月11日(日) ※
- 第5回 令和元年 11月3日(日) ※
- 第6回 令和2年 1月26日(日)
- 第7回 令和2年 3月15日(日)



※時間はいずれの回も13時30分（受付）～16時30分 ※日程は変更になることがあります。
※第3回、第4回、第5回の説明会は「筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京都文京区大塚3-29-1）」での開催となります。



詳細については、本学ホームページをご覧ください。



トップページ



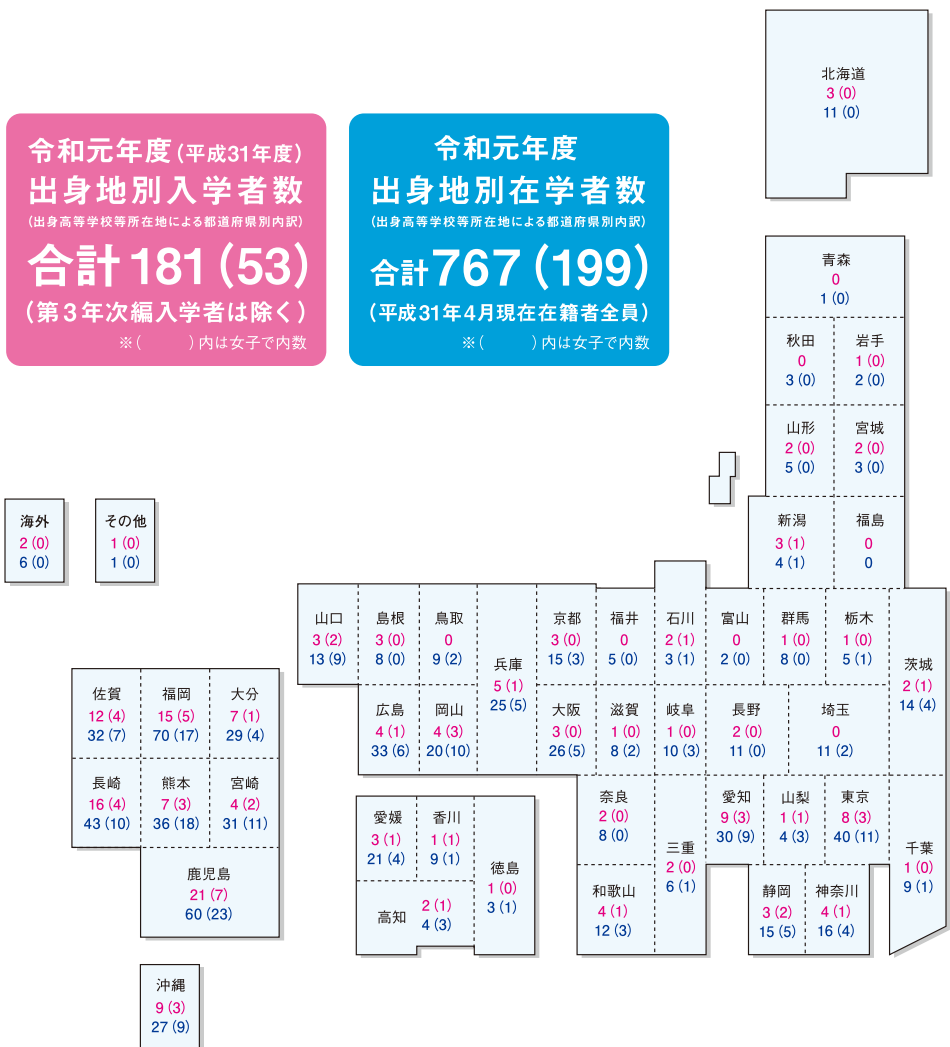
研究者の紹介

鹿屋体育大学のホームページを解説しています。学部・大学院の詳しい内容やキャンパスライフ、入試情報などをお知らせします。

<https://www.nifs-k.ac.jp/>

令和元年度(平成31年度)
出身地別入学者数
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)
合計181(53)
(第3年次編入学者は除く)
※()内は女子で内数

令和元年度
出身地別在学者数
(出身高等学校所在地による都道府県別内訳)
合計767(199)
(平成31年4月現在在籍者全員)
※()内は女子で内数



令和2年度入学者選抜

選 抜 方 法

次の選抜方法により実施します。

- AO(SS)入試※
- 推薦入試
- 一般入試
- 帰国子女入試
- 社会人入試
- 私費外国人留学生入試
- 第3年次編入学試験

※SSとは、スーパー・スチューデント (Super Student) の略で、競技能力の特に高い者を指します。

選 抜 方 法 の 概 要

令和2年度入学者選抜要項は令和元年7月配付予定です。

選 抜 要 項 の 請 求

封筒の表に「令和2年度選抜要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形2号封筒に宛名明記・140円切手を貼付）を同封の上請求してください。

請 求 先

〒891－2393
鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学教務課入試係
TEL(0994) 46－4869



テレメール



モバっちよ

REGIONAL CONTRIBUTION & UNIVERSITY-COMMUNITY RELATIONS PROJECTS

鹿屋体育大学では、大学のもつ人的・知的資源、施設・設備等を活かし、様々な地域貢献・社会連携等の取組を行っています。学生が主体的に関わるものも多く、貴重な学びの場にもなっています。ここでは本学が行っている主な取組をいくつか紹介します。

スポーツボランティア

地域の子どもの体力低下、運動部離れ、スポーツ指導者の不足、さらに中・高齢者の運動不足の解消や健康づくりのために、鹿屋市と連携し、学生ボランティアが地域の学校やスポーツ団体等においてスポーツ指導（指導補助）を安全で円滑にできるように支援しています。



公開講座

例年、本学の強みを生かしたスポーツ講座（マリンスポーツ、バスケットボール、バレーボール）や健康講座（水中運動教室）、英語の講座など、15講座ほど開講しています。講座によっては、地域の方々だけでなく離島や県外からも多くの参加があります。また、2020東京五輪・パラリンピックへ向けた講座、かごしま県民大学や県総合教育センターとの連携講座、東京サテライトキャンパスでの講座なども開設しています。



貯筋研究プロジェクト

近年大きな社会問題である日本人の体力・運動能力の低下現象に対し、鹿屋体育大学モデル「NIFS みんなの貯筋研究プロジェクト」として生活フィットネス（生活機能）向上のための“家庭でできる筋カトレーニングプログラム（貯筋運動プログラム）”を作成し、その普及振興を図っています。



学長杯の開催

学長杯として、例年、海洋スポーツセンターでのオープンヨットレース、薩摩の伝統遊戯である破魔投げ大会、大隅地区の子ども達を対象にしたサッカー大会を開催し、一般市民のみなさんへスポーツと触れ合う機会を提供しています。



高須小学校ヨット学習との合同授業

「競技スポーツ論・実習Ⅱ・Ⅲ—海洋スポーツ」の授業の一環として、鹿屋市立高須小学校児童へのヨット学習指導を行っています。大学生は授業の中で指導プログラムを準備し、ロールプレイング形式の演習を経た後、指導者として高須小学校の児童に対するプログラムを実践展開します。ロープワークに関する講義のほか、対象児童の学年に合わせて機遊びやカヌー・ヨットの体験乗船、操船学習などを行います。高須小学校にとっては、海岸地域にある学校の「特色ある学校作り」を目指した授業の一環となっています。



鹿屋市・垂水市との連携



教育・文化・スポーツの振興、健康及び福祉の充実、まちづくり、地域産業の活性化、生涯学習の推進などで包括連携協定を結んでいます。主な取組として、鹿屋市との「スポーツ合宿まちづくり推進事業」、垂水市のマリンスポーツ施設整備計画への参加・協力等を行っています。

【PICK UP①】タイ王国女子バレーボール ナショナルチーム事前キャンプ

平成30年5月に本学、鹿屋市、鹿児島県とタイ王国で締結した2020年東京オリンピック競技大会事前キャンプに関する覚書に基づき、平成30年7月～8月にかけて事前キャンプを実施しました。滞在期間中には串良平和アリーナでエキシビジョンマッチや選手のサインが当たる抽選会を実施する等、ホストタウンとして市民と交流を深めました。

【PICK UP②】BlueWinds（日本版NCAA『KANOKAモデル』の一環）

大学スポーツの振興で地域活性化を目指すというKANOKAモデルの確立に向け、創設された地域密着スポーツブランドです。平成30年度の取組は2.3ページをご覧ください。

国立大隅青少年自然の家との連携

相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用によるスポーツ体験活動等を通じた社会貢献及び教育研究分野の発展に資するための連携・協力事業を行っています。例として、おおすみくんちスポーツキャンプでの本学学生による指導・測定などが挙げられます。



鹿屋体育大学・財宝産学連携寄附研究講座

平成28年度より、本学と株式会社財宝の産学連携により、本学スポーツパフォーマンス研究センターを使ったスポーツパフォーマンス研究、健康運動プログラム研究などの支援を目的とした「鹿屋体育大学・財宝産学連携寄附研究講座」を開設しています。

各課外活動団体の取組

各課外活動団体で、地域の小中高生等を対象とした競技会やスポーツ教室を開催しています。また、自治体等が主催する競技大会での審判活動や運営補助、各種スポーツ教室での指導補助を行うなど、積極的に社会・地域貢献活動に取り組んでいます。



スポーツリフレッシュセミナー

本学と鹿児島県教育委員会との共催により、中学校、高等学校、特別支援学校の保健体育担当教員及び運動部活動指導者並びに競技団体の競技力向上担当指導者を対象に、競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的として、体育・スポーツ及び健康に関する専門的研究や最新のトレーニング法の研修を実施しています。



ACCESS & AREA MAP



1 かのやばら園

8 haの広大な敷地に3万5千株のバラが植えられた日本最大級を誇る「かのやばら園」。鹿屋オリジナルのバラ「プリンセスかのや」をはじめ、春のシーズンには、たくさんのバラが咲き誇ります。



2 平和公園串良平和アリーナ

滑走路跡の2本の直線道路が桜の名所としても知られている平和公園にあるアリーナ。2020年10月かごしま国体では成年女子バレーボールの試合が行われる予定です。



3 仲町・京町エリア

鹿屋市中心市街地は美味しい、楽しいがいっぱい。レトロな雰囲気のお店や鹿屋の特産物、名物を味わえるお店が数多く並びます。



4 神徳稲荷神社

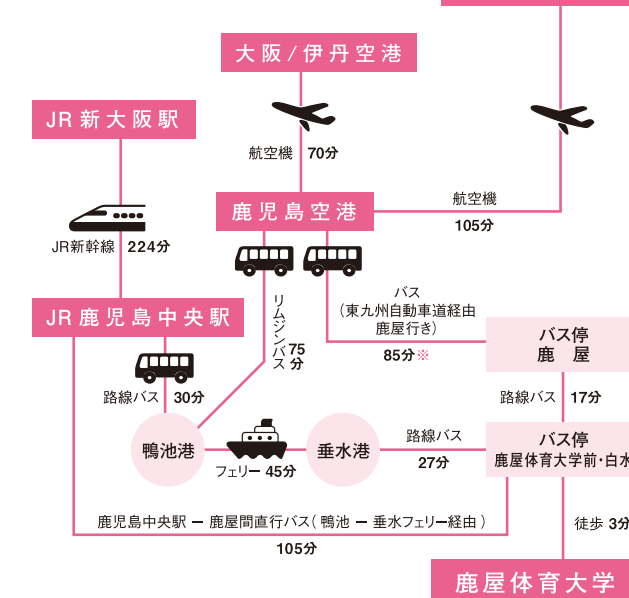
珍しいガラスの鳥居と連なる赤い鳥居が印象的な神社。静かで落ち着いた雰囲気でお参りや初詣にぴったりです。



5 雄川の滝

近年話題になった癒しスポット。1.2kmの遊歩道を進むと大パノラマが広がり、エメラルドグリーンの滝つぼは美しく神秘的です。

交通手段



※高速道路を経由しない場合は100分となります。